

付属資料

付属資料 I 建築物系公共施設の整備状況比較.....	1
I-1 建築物系公共施設整備状況の全国比較	1
I-2 建築物系公共施設整備状況の県内比較	2
I-3 近隣自治体との建築物系公共施設整備状況比較.....	3
I-4 類似自治体との建築物系公共施設整備状況比較.....	5
付属資料 II 施設用途ごとにみた現状と課題.....	7
II-1 庁舎施設	10
II-2 集会施設	14
II-3 社会教育・文化施設	25
II-4 スポーツ・レクリエーション施設	32
II-5 学校・教育施設	41
II-6 子育て支援施設	56
II-7 保健・医療・福祉施設	70
II-8 住宅施設	79
II-9 商業・産業施設	85
II-10 消防施設	91
II-11 環境・衛生施設	94
II-12 その他施設	99

付属資料 I 建築物系公共施設の整備状況比較

付属資料では、全国との比較により、本市の建築物系公共施設の整備状況を把握します。比較に用いる数値は、総務省から公開されている公共施設状況調査における公有財産データを用いています。

なお、ここでの本市における建築物系公共施設面積は、本付属資料対象施設データに、総務省公共施設状況調査の要領に則って、インフラ施設、延床面積 200 m²未満の施設、一部事務組合による施設（中東遠総合医療センター46,152 m²、環境資源ギャラリー11,165 m²）を加えた値としています。

I-1 建築物系公共施設整備状況の全国比較

- ・ 本市の人口 1 人あたりの建築物系公共施設面積 (3.87 m²/人) は、全国平均 (3.85 m²/人) に近い値になっています。
- ・ 本市の可住地面積あたりの建築物系公共施設面積 (29.1 m²/ha) は、全国平均 (39.7 m²/ha) よりも下回っています。

付属資料 図 I-1 全国の建築物系公共施設整備状況との比較

	掛川市	全国
人口 (人) (令和 2 年国勢調査)	114,954	126,146,099
総面積 (ha)	26,569	37,297,198
可住地面積 (ha)	15,292	12,263,537
可住地面積割合	0.58	0.33
建築物系公共施設面積 (m ²)	445,103	486,278,499
人口 1 人あたり建築物系公共施設面積 (m ² /人)	3.87	3.85
可住地面積あたりの建築物系公共施設面積 (m ² /ha)	29.1	39.7
人口 1 人あたり庁舎面積 (m ²)	0.199	0.143
人口 1 人あたり公営住宅面積 (m ²)	0.297	0.746
人口 1 人あたり小中学校面積 (m ²)	1.409	1.365

出所：【人口】令和 2 年 国勢調査 【総面積・可住地面積】統計でみる市区町村のすがた (令和元年度調査)
【建物面積】掛川市：令和 3 年度 掛川市公共施設一覧、全国：公共施設状況調査 (令和元年度調査)

I-2 建築物系公共施設整備状況の県内比較

- ・ 本市の人口1人あたりの建築物系公共施設面積（3.87 m²/人）は県内の市では7番目の大きさとなります。
- ・ 同程度の人口である三島市、島田市の建築物系公共施設面積が350,000 m²以下であるのに対し、掛川市の建築物系公共施設面積は445,103 m²とやや多くなっています。
- ・ また、掛川市よりも人口の多い富士宮市、焼津市、藤枝市の建築物系公共施設面積も350,000 m²以下であることから、建築物系公共施設の適正規模及び適正配置の見直しが今後考えられます。

付属資料 図 I-2 県内23市（人口1人あたり建築物系公共施設面積順）との比較

順位	市名	建築物系 公共施設面積（m ² ）	人口（人）	人口1人あたり 建築物系公共施設 面積（m ² /人）
1	伊豆市	170,058	28,190	6.03
2	熱海市	205,716	34,208	6.01
3	御前崎市	147,104	31,103	4.73
4	伊東市	306,029	65,491	4.67
5	下田市	86,722	20,183	4.30
6	湖西市	235,276	57,885	4.06
7	掛川市	445,103	114,954	3.87
8	伊豆の国市	170,536	46,804	3.64
9	御殿場市	302,040	86,614	3.49
10	牧之原市	150,678	43,502	3.46
11	沼津市	648,632	189,386	3.42
12	静岡市	2,258,820	693,389	3.26
13	島田市	310,657	95,719	3.25
14	浜松市	2,542,936	790,718	3.22
15	富士市	761,720	245,392	3.10
16	裾野市	157,845	50,911	3.10
17	三島市	327,638	107,783	3.04
18	磐田市	491,569	166,672	2.95
19	袋井市	250,073	87,864	2.85
20	菊川市	135,549	47,789	2.84
21	富士宮市	348,619	128,105	2.72
22	焼津市	337,495	136,845	2.47
23	藤枝市	235,639	141,342	1.67

出所：【人口】令和2年 国勢調査

【建物面積】掛川市：令和3年度 掛川市公共施設一覧、他自治体：公共施設状況調査（令和元年度調査）

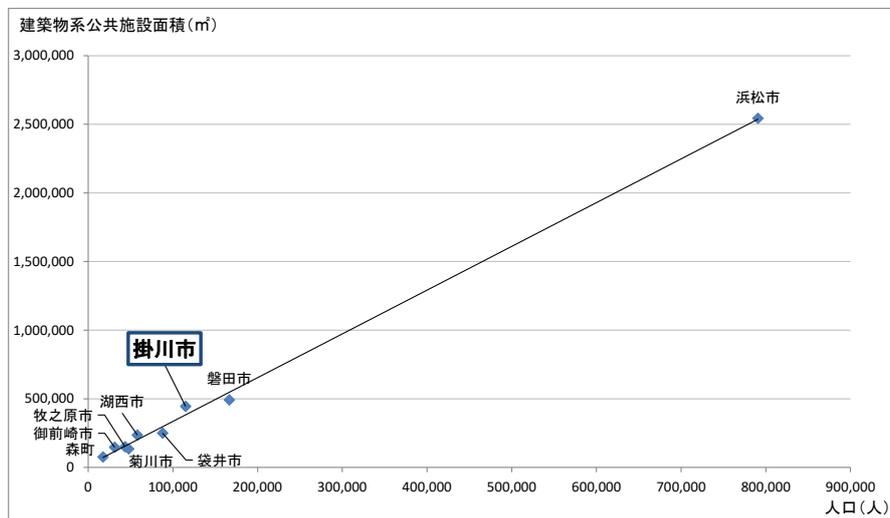
I-3 近隣自治体との建築物系公共施設整備状況比較

本節では、遠州地域（浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、牧之原市及び森町）との比較により、本市の建築物系公共施設の整備状況を相対的に把握します。

I-3-1 遠州地域における建築物系公共施設整備状況比較

- ・ 遠州地域の自治体人口と、建築物系公共施設面積比較の近似線を求めた結果は下記のとおりとなります。
- ・ 本市の建築物系公共施設面積は他市と比較してやや多めとなっており、人口1人あたり建築物系公共施設面積は、遠州地域では可住地人口密度に対して4番目の大きさになっています。

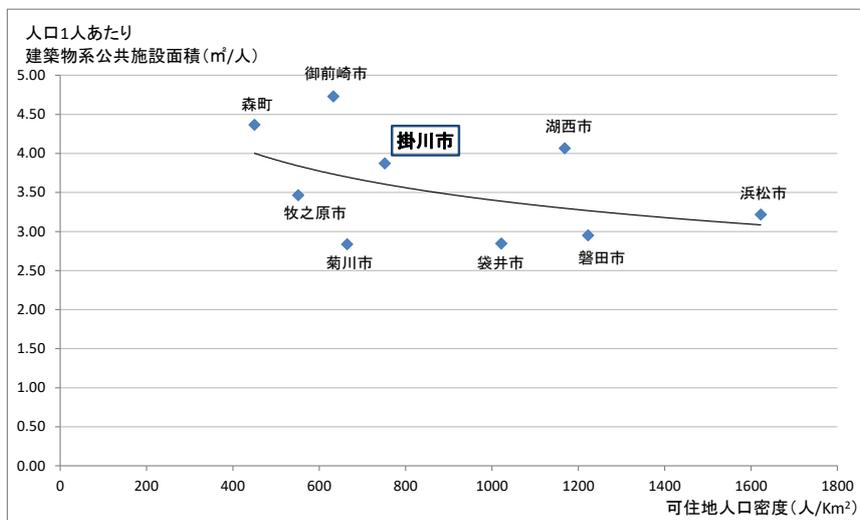
付属資料 図 I-3 遠州地域の自治体比較（建築物系公共施設面積）



出所：【人口】令和2年 国勢調査

【建物面積】掛川市：令和3年度 掛川市公共施設一覧、他自治体：公共施設状況調査（令和元年度調査）

付属資料 図 I-4 遠州地域の自治体比較（人口1人あたり建築物系公共施設面積）



出所：【人口】令和2年 国勢調査

【建物面積】掛川市：令和3年度 掛川市公共施設一覧、他自治体：公共施設状況調査（令和元年度調査）

I-3-2 遠州地域の建築物系公共施設整備状況比較

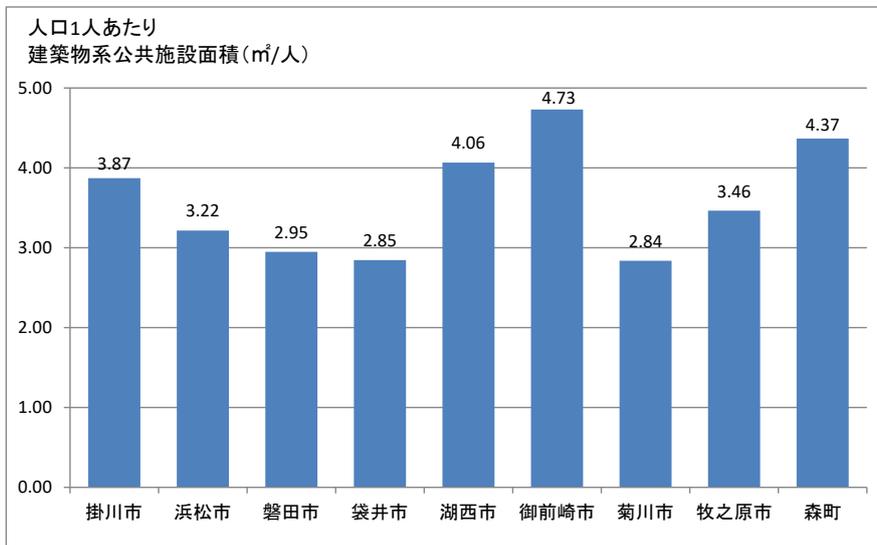
- ・ 遠州地域で人口1人あたり建築物系公共施設面積を比較すると、本市は4番目の保有量であることがわかります。また、可住地面積割合は、遠州地域の中で6番目の保有量となっています。
- ・ 本市の人口1人あたりの建築物系公共施設面積は、他市に比べ比較的大きくなっていますが、これは、本市の公共施設整備が旧町村単位で行われてきた傾向があり、学校施設も旧町村単位で配置されていることや、市域面積が広く、可住地が分散していることが挙げられます。公共施設の整備は、地理的に非効率であったと言えます。
- ・ しかしながら、平成17年の1市2町の合併による公共施設の削減はあまり進んでいない状況にあり、今後の人口変動、利用ニーズの変化を考えると、効率的な公共施設の再配置や転用等が必要になると思われます。

付属資料 図 I-5 遠州地域の建築物系公共施設整備状況

	掛川市	浜松市	磐田市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	牧之原市	森町
人口(人)	114,954	790,718	166,672	87,864	57,885	31,103	47,789	43,502	17,457
総面積(ha)	26,569	155,806	16,345	10,833	8,656	6,556	9,419	11,169	13,391
可住地面積(ha)	15,292	48,736	13,633	8,603	4,954	4,917	7,190	7,894	3,879
可住地面積割合	0.58	0.31	0.83	0.79	0.57	0.75	0.76	0.71	0.29
建築物系公共施設面積(m ²)	445,103	2,542,936	491,569	250,073	235,276	147,104	135,549	150,678	76,226
人口1人あたり建築物系公共施設面積(m ² /人)	3.87	3.22	2.95	2.85	4.06	4.73	2.84	3.46	4.37
可住地面積あたり建築物系公共施設面積(m ² /ha)	29.1	52.2	36.1	29.1	47.5	29.9	18.9	19.1	19.7
庁舎面積(m ²)	22,933	47,149	11,315	11,849	6,874	10,608	7,229	13,338	2,789
公営住宅面積(m ²)	34,129	383,243	29,314	16,710	25,672	21,931	17,174	18,056	9,208
小中学校面積(m ²)	161,927	878,495	219,389	102,872	91,744	33,880	61,281	58,968	34,756

出所：【人口】令和2年 国勢調査 【総面積・可住地面積】統計でみる市区町村のすがた（令和元年度調査）
 【建物面積】掛川市：令和3年度 掛川市公共施設一覧、他自治体：公共施設状況調査（令和元年度調査）

付属資料 図 I-6 人口1人あたり建築物系公共施設面積の比較



I-4 類似自治体との建築物系公共施設整備状況比較

本節では、類似自治体との比較により、本市の建築物系公共施設の整備状況を相対的に把握します。

I-4-1 類似自治体の抽出

本市との比較対象として、自治体としての規模が類似する自治体を抽出します。まず、自治体としての規模を、人口・面積・財政力の3軸で評価を行いました。人口については市内に住む総人口を、面積については総面積及び可住地面積を、財政力については財政力指数を用いて評価を行い、本市との差異がいずれも30～40%程度におさまる自治体の内、代表的な3市（千葉県成田市、静岡県藤枝市、三重県伊勢市。以下「類似3自治体」と呼びます。）を抽出しました。なお、各自治体の地形の違いを除くために、総面積だけでなく可住地面積も用いて評価を行いました。

付属資料 図 I-7 掛川市と類似3自治体との比較

	掛川市	千葉県 成田市	静岡県 藤枝市	三重県 伊勢市
人口（人）	114,954	132,906	141,342	122,765
総面積（ha）	26,569	21,384	19,406	20,835
財政力指数	0.90	1.33	0.88	0.60

出所：【人口】令和2年 国勢調査 【総面積】統計でみる市区町村のすがた（令和元年度調査）
【財政力指数】令和2年度 地方公共団体の主要財政指標一覧

これら類似3自治体は、人口・面積・財政力の面で本市と似ているだけでなく、1954年に市制を施行した古くからの都市であり、平成の大合併においても合併の中心的な自治体となった点などが共通しています。

付属資料 図 I-8 類似3自治体の概要

千葉県 成田市	1954年に成田市が発足して以降、2006年に2町（下総町、大栄町）を編入して現在の成田市となった。以前より農業が盛んであり、地域の中心的な位置付けであったが、近年では空港整備を受けた物流産業やゴルフ場などのレジャー産業、成田山新勝寺などの観光産業などが拡大傾向にある。
静岡県 藤枝市	遠州地域に隣接した静岡県中部の都市で、1954年に藤枝市が発足して以降、2009年に岡部町を編入して現在の藤枝市となった。お茶やみかんなどの農産物が産業中心であり、市内には食料品や製菓会社の工場なども立地している。
三重県 伊勢市	三重県南東部にあり遠州灘に面した観光都市である。他市と同様に1954年に市として発足し、2005年に1市2町1村（伊勢市、二見町、小俣町、御園村）で合併し伊勢市として発足している。伊勢神宮の門前町であり観光産業が中心である。

出所：各自治体ホームページ

I-4-2 類似3自治体との建築物系公共施設整備状況比較

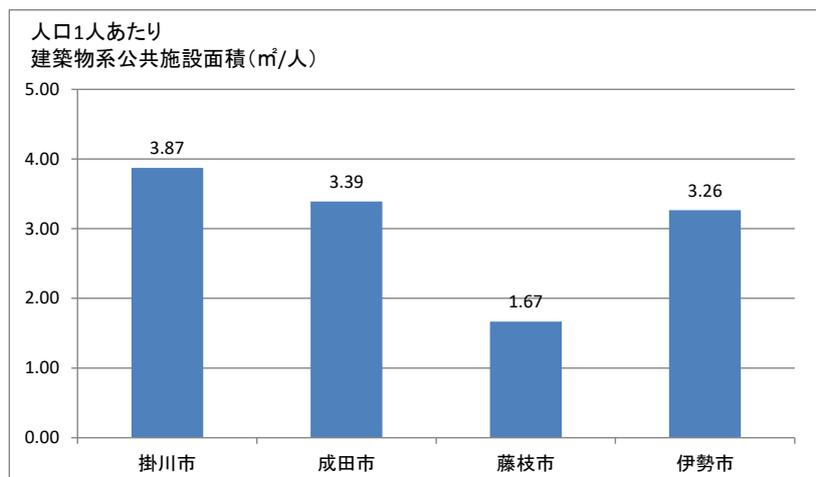
- ・ 本市は、類似3自治体と比較すると、建築物系公共施設面積は4市平均よりも大きい値になっています。
- ・ 人口1人あたりの建築物系公共施設面積を比較すると、本市は最も大きい値であることがわかります。
- ・ 代表的な施設用途別に見た場合、庁舎、公営住宅において、本市は4市平均に近い値であり、小中学校のみ他市と比較して小さい値となっています。

付属資料 図 I-9 類似3自治体と建築物系公共施設整備状況

	掛川市	千葉県 成田市	静岡県 藤枝市	三重県 伊勢市	4市平均
人口(人)	114,954	132,906	141,342	122,765	127,992
総面積(ha)	26,569	21,384	19,406	20,835	22,049
可住地面積(ha)	15,292	16,561	10,149	9,878	12,970
建築物系公共施設面積(m ²)	445,103	450,561	235,639	400,725	383,007
人口1人あたり建築物系公共施設面積(m ² /人)	3.87	3.39	1.67	3.26	3.05
可住地面積あたり建築物系公共施設面積(m ² /ha)	29.1	27.2	23.2	40.6	30.0
庁舎面積(m ²)	22,933	18,405	14,407	18,761	18,626
公営住宅面積(m ²)	34,129	12,696	21,990	53,515	30,582
小中学校面積(m ²)	161,927	186,032	175,479	191,674	178,778

出所：【人口】令和2年 国勢調査 【総面積・可住地面積】統計でみる市区町村のすがた（令和元年度調査）
【建物面積】掛川市：令和3年度 掛川市公共施設一覧、他自治体：公共施設状況調査（令和元年度調査）

付属資料 図 I-10 人口1人あたり建築物系公共施設面積の比較



付属資料 II 施設用途ごとにみた現状と課題

本章では、本市が保有する建築物系公共施設の現況と課題を整理し、今後の整備方針を検討するための基礎資料とします。基本構成は下記のとおりとします。

(1) 配置状況

施設用途別の建築物系公共施設の配置状況を整理し、配置図で示します。

(2) 老朽化・利用・コスト（管理運営経費）の状況

各施設の設置目的や施設機能等に応じ、老朽化状況、利用状況、コスト状況（管理運営経費）の3つの観点を基本に現状を整理します。

① 老朽化状況

施設用途ごとに、各施設の老朽化状況を整理します。老朽化状況については、築年数と建物の構造に応じた耐用年数から整理します。築年数は施設に属する建物のうち、最も延床面積が大きい建物の築年数を代表値として用います。

老朽化度は施設に属する建物すべてに対して1つの値を算出します。なお、施設に複数の建物がある場合、老朽化度は建物の築年数、及び構造から算出します。

算出方法は以下の通りとなります。

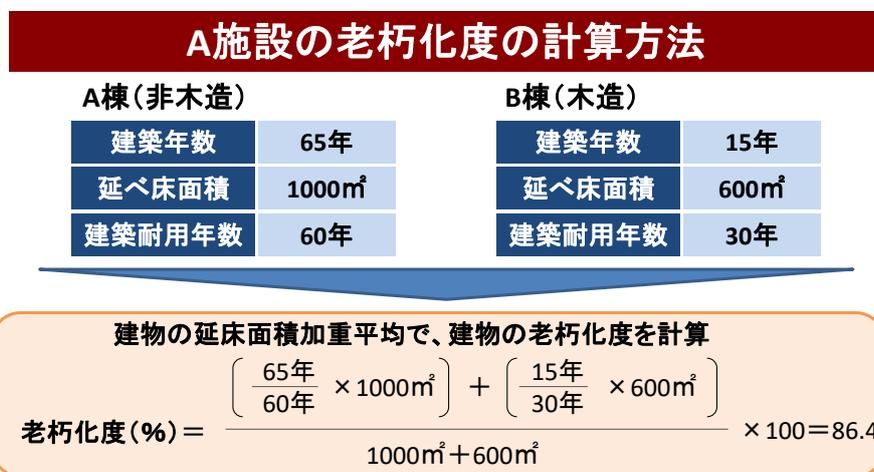
老朽化度 (%) =

$$\left\{ \left(\frac{\text{建物 A の築年数}}{\text{建物 A の構造に応じた耐用年数}} \times \text{建物 A の延床面積} \right) + \left(\frac{\text{建物 B の築年数}}{\text{建物 B の構造に応じた耐用年数}} \times \text{建物 B の延床面積} \right) \right\} \div \left(\text{建物 A の延床面積} + \text{建物 B の延床面積} \right) \times 100$$

※耐用年数は、非木造建築は耐用年数60年、木造建築は耐用年数30年と設定する。

※老朽化度が100%を超過した施設については、グラフ上では100%と表示する。

付属資料 図 II-1 老朽化度の計算方法



※ 耐用年数は将来の維持更新費用の算出と同様に、非木造建築は耐用年数60年、木造建築は耐用年数30年と設定します。

② 利用状況

各施設の利用状況を施設用途別に整理します。具体的には平成 27 年度（2015 年度）から平成 29 年度（2017 年度）の 3 年間の利用実績から平均値を算出して利用状況としています。ただし、対象期間中に開設された施設、または閉鎖された施設等については、3 年分の利用実績が揃わないため、実績のある期間のみを平均値算出の対象としています。

付属資料 図 II-2 利用状況を確認するための指標

施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	利用状況を確認するための指標
庁舎施設	庁舎	—
	支所	
集会施設	公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・1 日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
	市民会館・ホール	
	地域コミュニティ施設	
	その他集会施設	
社会教育・文化施設	図書館	・貸出冊数/蔵書冊数
	美術館	・1 日平均利用者数/延床面積
	その他社会教育文化施設	
スポーツ・レクリエーション施設	総合運動場	・1 日平均利用者数/延床面積
	体育館	・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
	プール	・1 日平均利用者数/延床面積
	キャンプ場	
	温泉施設	
	その他スポーツ施設	
学校・教育施設	小学校	・延床面積/児童数
	中学校	・延床面積/生徒数
	給食施設	・1 日平均配食数
	その他教育施設	・1 日平均利用者数/延床面積
	幼稚園	・延床面積/園児数
子育て支援施設	認定こども園	・1 日平均利用者数/延床面積
	児童館	
	放課後児童クラブ（学童保育所）	
	その他子育て支援施設	
	保健施設	
保健・医療・福祉施設	高齢者施設	・1 日平均利用者数/延床面積
	その他保健医療福祉施設	・貸部屋等利用率（年間利用コマ数/年間利用可能コマ数）
	市営住宅	・入居率（入居戸数/入居可能戸数）
その他住宅施設		
商業・産業施設	商工施設	・1 日平均利用者数/延床面積
	観光施設	
	その他商業産業施設	
消防施設	消防庁舎	—
	分署	
環境・衛生施設	ごみ焼却場	—
	埋め立て処分場	
	し尿処理場	
その他施設	駐車場	・1 日平均利用者数/延床面積
	駐輪場	

※利用状況を確認する施設用途については、面積あたり 1 日平均利用者数、貸部屋等利用率、入居率（住宅施設）、園児・児童・生徒数（保育園、小学校、中学校）あたり延床面積等をグラフ化して相対比較を行います。

※利用コマ数とは、部屋・貸出箇所ごとの貸出単位です。例えば、ある部屋について午前・午後・夜間の 3 区分で貸出可能な場合は 1 部屋 3 コマと数えます。1 時間単位での貸出の場合は、9:00～17:00 まで貸出可能であれば、1 部屋 8 コマと数えます。

③ コストの状況

各施設が年間にどの程度の支出があり、施設の管理運営等に要する経費が発生しているかについて整理します。具体的には平成 27 年度(2015 年度)から平成 29 年度(2017 年度)の 3 年間の支出実績から平均値を算出してコスト状況としています。ただし、対象期間中に開設された施設、または閉鎖された施設等については、3 年分の支出実績が揃わないため、実績のある期間のみを平均値算出の対象としています。

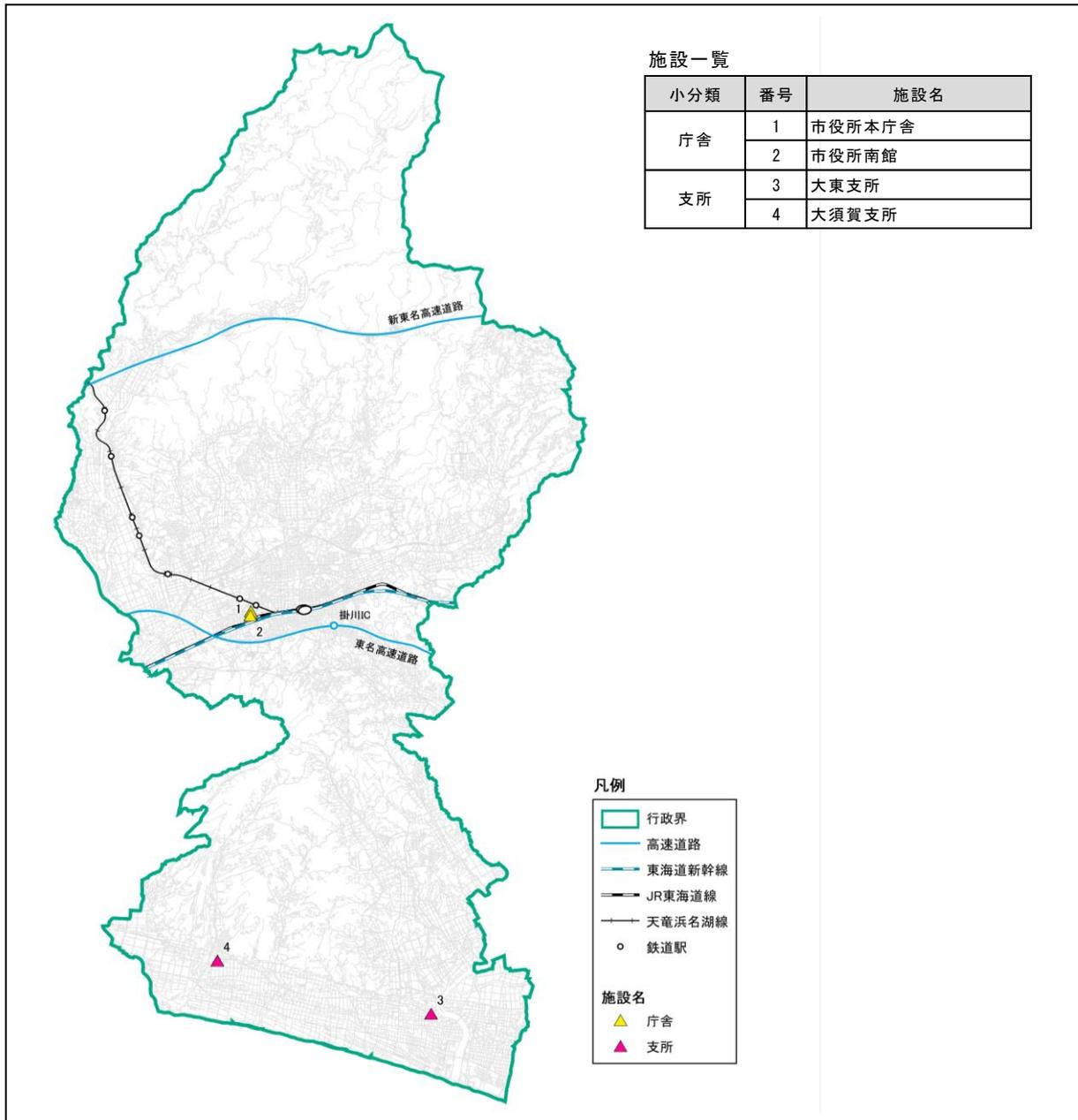
付属資料 図 II-3 管理運営経費の状況を確認するための指標

費 目	内容 (表の合計金額は単位未満四捨五入のため合わない場合があります)
施設維持管理コスト	修繕料、火災保険料、維持管理委託料、敷地借上料、工事請負費、その他維持費
施設運営コスト	消耗品費、通信費等、その他運営費 (事業費)
人件費 (賃金含む)	人件費の概算費※市職員の人件費単価と市職員数から計算している。また、臨時職員の賃金を含む。
指定管理料	指定管理制度における委託料※導入施設のみ。

II-1 庁舎施設

- ・ 庁舎施設には、庁舎と支所があり、庁舎には、市役所本庁舎と市役所南館、支所には大東支所、大須賀支所があります。
- ・ 市役所本庁舎は、市民主体の市政を推進するために、ガラス張りの空間構成、お茶畑の段々畑をイメージした生涯学習テラス、円形議場の設置など、独自性・文化性を追求した建築物になっています。
- ・ 市役所南館には、教育委員会の各部署が集約されています。
- ・ 支所では、行政窓口サービス機能や市民活動支援機能などの役割を担っています。

付属資料 図 II-4 配置状況・外観写真（庁舎施設）





市役所本庁舎



市役所南館



大東支所



大須賀支所

II-1-1 庁舎

(1) 老朽化状況の把握

- 市役所本庁舎、市役所南館はそれぞれ平成7年度、平成16年度に建設され、老朽化度は43.3%、28.3%となっており、特に市役所本庁舎の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-5 老朽化状況（庁舎）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
市役所本庁舎	16,135	H7	43.3		
市役所南館	960	H16	28.3		

(2) 利用状況の把握

- 市役所本庁舎及び市役所南館については、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 市役所本庁舎のコストは高い値となっており、その内訳を見ると、人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-6 コスト状況（庁舎）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
市役所本庁舎	166,692	17,292	3,247,892	3,431,876
市役所南館	8,192	4	314,347	322,543

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	800,000	1,600,000	2,400,000	3,200,000	4,000,000
市役所本庁舎						
市役所南館						

II-1-2 支所

(1) 老朽化状況の把握

- 支所は市内に2ヶ所設置されていますが、大東支所の方が老朽化度が高くなっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-7 老朽化状況（支所）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
大東支所	3,664	S63	53.7		
大須賀支所	2,174	H19	43.6		

(2) 利用状況の把握

- 大東支所及び大須賀支所については、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 支所に係るコストは、人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-8 コスト状況（支所）

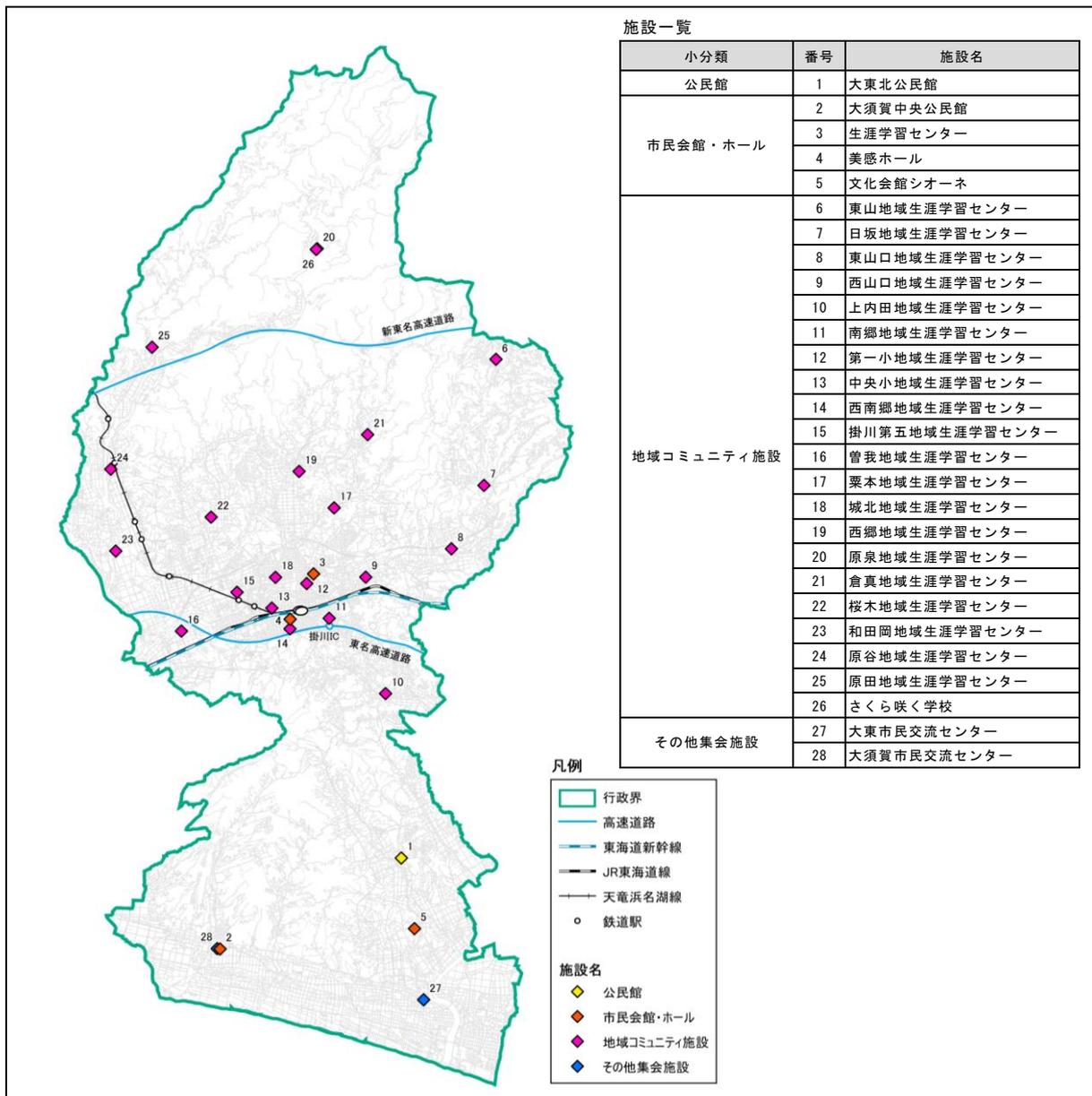
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
大東支所	18,897	17,290	102,547	138,734
大須賀支所	24,109	43,837	75,157	143,103

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	40,000	80,000	120,000	160,000	200,000
大東支所						
大須賀支所						

II-2 集会施設

- ・ 集会施設には、公民館が1件、市民会館・ホールが4件、地域生涯学習センター等の地域コミュニティ施設が21件、その他集会施設が2件あります。
- ・ 市民会館・ホールは、大須賀中央公民館、生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネがあり、講座やコンサートなど、各種イベントで利用しています。
- ・ 地域生涯学習センターは、地域における市民の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を図るため、各地域に設置しています。
- ・ さくら咲く学校は、旧小学校校舎を活用して、地元住民が地域活性化事業を創出しています。
- ・ その他集会施設には、大東支所、大須賀支所内にそれぞれ市民交流センターがあり、市民活動の拠点として、貸館等を行っています。

付属資料 図 II-9 配置状況・外観写真（集会施設）





大東北公民館



大須賀中央公民館



生涯学習センター



美感ホール



文化会館シオーネ



東山地域生涯学習センター



日坂地域生涯学習センター



東山口地域生涯学習センター



西山口地域生涯学習センター



上内田地域生涯学習センター



南郷地域生涯学習センター



第一小地域生涯学習センター



中央小地域生涯学習センター



西南郷地域生涯学習センター



掛川第五地域生涯学習センター



曽我地域生涯学習センター



粟本地域生涯学習センター



城北地域生涯学習センター



西郷地域生涯学習センター



原泉地域生涯学習センター



倉真地域生涯学習センター



桜木地域生涯学習センター



和田岡地域生涯学習センター



原谷地域生涯学習センター



原田地域生涯学習センター



さくら咲く学校



大東市民交流センター



大須賀市民交流センター

II-2-1 公民館

(1) 老朽化状況の把握

- 大東北公民館の老朽化度は69.0%となっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-10 老朽化状況（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
大東北公民館	802	S55	69.0		

※大東千浜西公民館、大東国浜公民館、大東佐東公民館は地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

(2) 利用状況の把握

- 大東北公民館の利用者数は年間 1.7 万人程度となっていますが、貸部屋等利用率は約 17.9%と低い値となっています。

付属資料 図 II-11 利用状況（公民館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率(%)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.0	25.0	50.0	75.0	100.0
大東北公民館	802	16,290	17,713	17,184	17,062	0.07	17.9					

※大東千浜西公民館、大東国浜公民館、大東佐東公民館は地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

(3) コスト状況の把握

- 大東北公民館に係るコストは、人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-12 コスト状況（公民館）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
大東北公民館	3,137	849	7,587	11,573

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	4,000	8,000	12,000	16,000
大東北公民館					

II-2-2 市民会館・ホール

(1) 老朽化状況の把握

- 大須賀中央公民館、生涯学習センター、美感ホールの老朽化度は 50%を超えており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-13 老朽化状況（市民会館・ホール）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
				0	100
大須賀中央公民館	3,062	S56	66.7		
生涯学習センター	6,833	S57	65.0		
美感ホール	906	H3	50.0		
文化会館シオーネ	5,175	H10	38.3		

(2) 利用状況の把握

- 生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネの貸部屋等利用率は 40%前後と比較的高い値となっています。

付属資料 図 II-14 利用状況（市民会館・ホール）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率(%)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.0	25.0	50.0	75.0	100.0
大須賀中央公民館	3,062	56,829	28,810	41,467	42,369	0.05	12.4					
生涯学習センター	6,833	145,947	160,956	161,915	156,273	0.06	44.2					
美感ホール	906	18,988	18,739	16,425	18,051	0.07	38.4					
文化会館シオーネ	5,175	88,217	89,394	103,858	93,823	0.05	42.9					

(3) コスト状況の把握

- 生涯学習センター、美感ホール、文化会館シオーネは指定管理者制度を導入しており、コストの内訳を見ると、指定管理料が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-15 コスト状況（市民会館・ホール）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
大須賀中央公民館	15,789	965	7,803	-	24,558
生涯学習センター	60,773	39,653	0	77,501	177,927
美感ホール	8,168	5,858	0	7,947	21,973
文化会館シオーネ	55,726	69,029	7,762	107,303	239,820

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	50,000	100,000	150,000	200,000	250,000
大須賀中央公民館						
生涯学習センター						
美感ホール						
文化会館シオーネ						

II-2-3 地域コミュニティ施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 老朽化度は、多くの施設において、50%を超えている状況となっています。
- ・ 特に、原泉地域生涯学習センターや東山地域生涯学習センターで老朽化度が高くなっており、施設の老朽化が進行しています。
- ・ 一方、老朽化度が低い、新しい施設としては、南郷地域生涯学習センターや西南郷地域生涯センターがあります。

付属資料 図 II-16 老朽化状況（地域コミュニティ施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
東山地域生涯学習センター	330	S51	90.1		
日坂地域生涯学習センター	252	S56	66.7		
東山口地域生涯学習センター	249	S57	65.0		
西山口地域生涯学習センター	250	S57	65.0		
上内田地域生涯学習センター	344	S59	61.7		
南郷地域生涯学習センター	556	H23	24.5		
第一小地域生涯学習センター	249	S61	58.3		
中央小地域生涯学習センター	256	S56	66.7		
西南郷地域生涯学習センター	525	H16	28.3		
掛川第五地域生涯学習センター	250	S59	61.7		
曾我地域生涯学習センター	250	S61	58.3		
粟本地域生涯学習センター	499	S58	63.3		
城北地域生涯学習センター	792	S49	78.3		
西郷地域生涯学習センター	259	S62	56.7		
原泉地域生涯学習センター	150	S57	100.0		
倉真地域生涯学習センター	437	S57	54.9		
桜木地域生涯学習センター	255	S58	63.3		
和田岡地域生涯学習センター	273	S58	64.7		
原谷地域生涯学習センター	253	S59	61.7		
原田地域生涯学習センター	251	S56	66.7		
さくら咲く学校	1,982	S43	77.5		

※佐東地区センター、中地区センターは地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

※大東区域にあるコミュニティ防災センター9施設については、地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

(2) 利用状況の把握

- ・ 面積あたり1日あたり平均利用者数は、中央小地域生涯学習センターが0.29人/㎡・日と最も高くなっており、さくら咲く学校が0.02人/㎡・日と最も低くなっています。
- ・ さくら咲く学校については、貸部屋等利用率は63.6%と高い値となっています。

付属資料 図 II-17 利用状況（地域コミュニティ施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.0	0.1	0.2	0.3	0.4
東山地域生涯学習センター	330	5,602	4,523	4,534	4,886	0.08	—					
日坂地域生涯学習センター	252	8,489	9,464	10,083	9,345	0.18	—					
東山口地域生涯学習センター	249	7,078	5,890	5,732	6,233	0.10	—					
西山口地域生涯学習センター	250	9,665	9,897	9,781	9,781	0.25	—					
上内田地域生涯学習センター	344	6,426	6,678	8,747	7,284	0.10	—					
南郷地域生涯学習センター	556	20,663	22,621	16,743	20,009	0.22	—					
第一小地域生涯学習センター	249	2,514	3,563	2,888	2,988	0.09	—					
中央小地域生涯学習センター	256	6,864	9,302	6,610	7,592	0.29	—					
西南郷地域生涯学習センター	525	12,156	14,233	14,268	13,552	0.13	—					
掛川第五地域生涯学習センター	250	5,354	5,933	6,218	5,835	0.13	—					
菅我地域生涯学習センター	250	6,354	6,337	5,782	6,158	0.17	—					
粟本地域生涯学習センター	499	10,508	10,995	11,905	11,136	0.11	—					
城北地域生涯学習センター	792	5,295	5,298	5,296	5,296	0.05	—					
西郷地域生涯学習センター	259	4,071	3,896	3,462	3,810	0.07	—					
原泉地域生涯学習センター	150	1,282	1,290	1,229	1,267	0.04	—					
倉真地域生涯学習センター	437	5,374	4,960	5,530	5,288	0.08	—					
桜木地域生涯学習センター	255	5,285	4,686	5,021	4,997	0.11	—					
和田岡地域生涯学習センター	273	4,882	3,923	8,929	5,911	0.20	—					
原谷地域生涯学習センター	253	4,558	5,831	3,661	4,683	0.14	—					
原田地域生涯学習センター	251	3,573	3,103	3,338	3,338	0.13	—					
さくら咲く学校	1,982	10,500	11,500	14,500	12,167	0.02	63.6					

※佐東地区センター、中地区センターは地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

※大東区域にあるコミュニティ防災センター9施設については、地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

※各地域生涯学習センターの貸部屋等利用率については、実績値は不明となっています。

(3) コスト状況の把握

- ・ 地域コミュニティ施設に係るコストは、さくら咲く学校が最も高い値となっています。
- ・ 施設維持管理コストが最も高い施設は、西南郷地域生涯学習センターで1,551千円となっています。

付属資料 図 II-18 コスト状況（地域コミュニティ施設）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
東山地域生涯学習センター	296	933	311	1,541
日坂地域生涯学習センター	353	760	311	1,425
東山口地域生涯学習センター	477	1,103	311	1,892
西山口地域生涯学習センター	289	1,122	311	1,722
上内田地域生涯学習センター	647	1,081	311	2,039
南郷地域生涯学習センター	1,506	1,413	311	3,231
第一小地域生涯学習センター	330	725	311	1,367
中央小地域生涯学習センター	333	954	311	1,598
西南郷地域生涯学習センター	1,551	1,170	311	3,032
掛川第五地域生涯学習センター	387	755	311	1,453
曾我地域生涯学習センター	659	832	311	1,803
粟本地域生涯学習センター	783	1,171	311	2,265
城北地域生涯学習センター	570	1,082	311	1,963
西郷地域生涯学習センター	1,105	1,487	311	2,903
原泉地域生涯学習センター	370	751	311	1,432
倉真地域生涯学習センター	575	987	311	1,873
桜木地域生涯学習センター	654	885	311	1,850
和田岡地域生涯学習センター	546	853	311	1,711
原谷地域生涯学習センター	735	1,136	311	2,183
原田地域生涯学習センター	392	1,127	311	1,830
さくら咲く学校	903	1,692	1,557	4,152

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	1,000	2,000	3,000	4,000
東山地域生涯学習センター					
日坂地域生涯学習センター					
東山口地域生涯学習センター					
西山口地域生涯学習センター					
上内田地域生涯学習センター					
南郷地域生涯学習センター					
第一小地域生涯学習センター					
中央小地域生涯学習センター					
西南郷地域生涯学習センター					
掛川第五地域生涯学習センター					
曾我地域生涯学習センター					
粟本地域生涯学習センター					
城北地域生涯学習センター					
西郷地域生涯学習センター					
原泉地域生涯学習センター					
倉真地域生涯学習センター					
桜木地域生涯学習センター					
和田岡地域生涯学習センター					
原谷地域生涯学習センター					
原田地域生涯学習センター					
さくら咲く学校					

※佐東地区センター、中地区センターは地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

※大東区域にあるコミュニティ防災センター9 施設については、地域で管理していただいております、本付属資料の対象外としています。

II-2-4 その他集会施設

(1) 老朽化状況の把握

- 大東市民交流センターは大東支所 3 階、大須賀市民交流センターは大須賀支所 2 階に設置されています。
- 老朽化度は大東市民交流センターの方が高く、55.0%となっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-19 老朽化状況（その他集会施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
大東市民交流センター	1,088	S63	55.0		
大須賀市民交流センター	686	H19	23.3		

(2) 利用状況の把握

- 貸部屋利用率は、大須賀市民交流センターの方が高く、18.7%となっています。

付属資料 図 II-20 利用状況（その他集会施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋棟利用率(%)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.0	25.0	50.0	75.0	100.0
大東市民交流センター	1,088	15,382	13,467	14,040	14,296	0.04	13.9					
大須賀市民交流センター	686	15,203	16,154	16,869	16,075	0.08	18.7					

※各市民交流センターの貸部屋等利用率については、平成 29 年度の実績値から算出しています。

(3) コスト状況の把握

- 大東市民交流センター、大須賀市民交流センターは、それぞれ大東支所、大須賀支所の複合施設であることから、施設運営コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-21 コスト状況（その他集会施設）

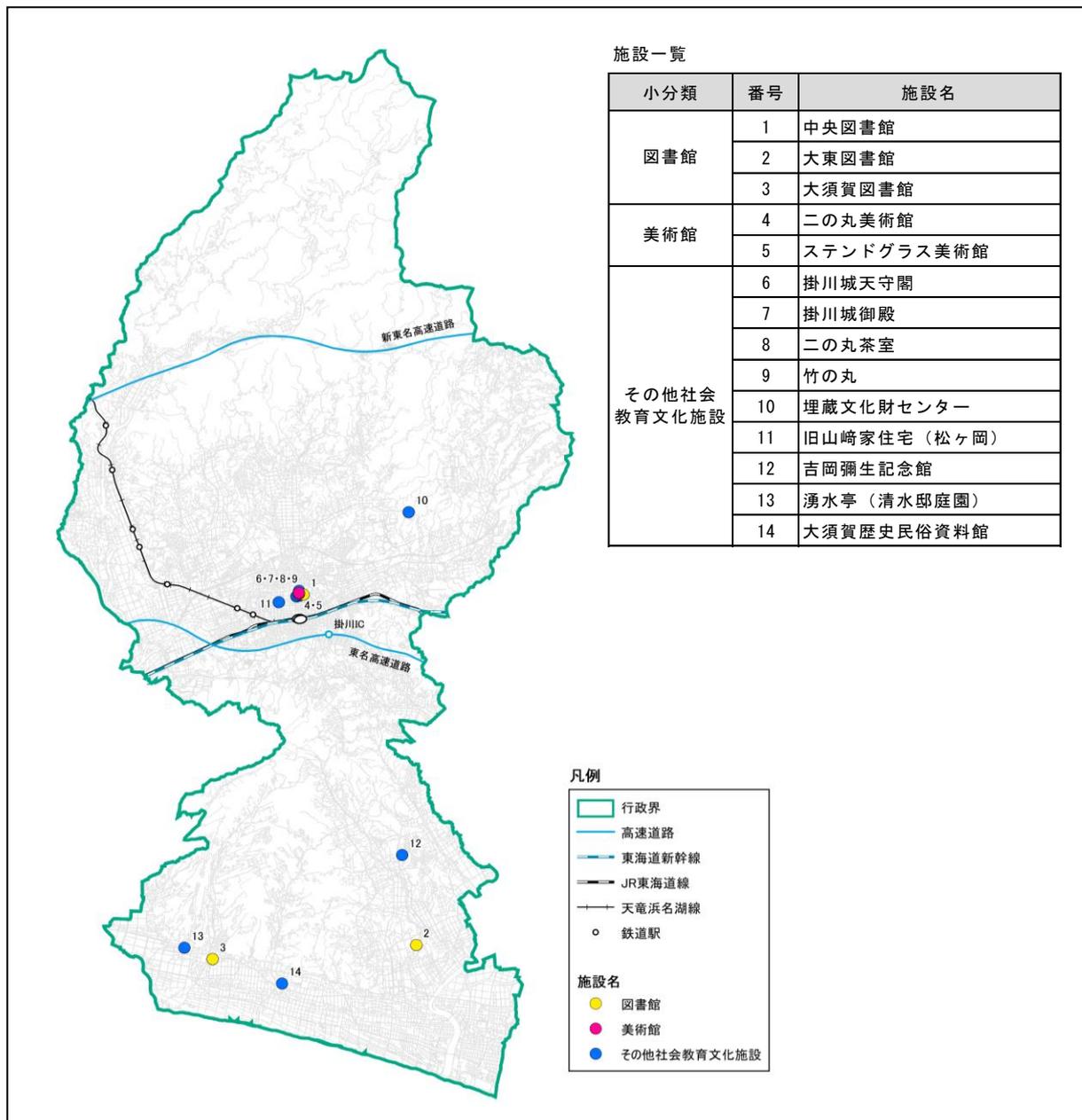
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
大東市民交流センター	25	4,279	0	4,304
大須賀市民交流センター	30	4,182	0	4,212

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
大東市民交流センター						
大須賀市民交流センター						

II-3 社会教育・文化施設

- ・ 社会教育・文化施設には、図書館が3件、美術館が2件、その他社会教育文化施設が9件あります。
- ・ 図書館には、中央図書館、大東図書館、大須賀図書館があり、蔵書の貸し出しなどを行っています。館内には、展示スペース、会議室などを有しています。
- ・ 美術館には、工芸品や近代絵画のコレクションを収蔵している二の丸美術館と、19世紀イギリス、ヴィクトリア時代のステンドグラスなど約70点余りを展示し、平成27年6月6日に開館したステンドグラス美術館があります。
- ・ その他社会教育文化施設には、掛川城天守閣、掛川城御殿、その他の歴史的に価値のある建物、吉岡彌生記念館などがあり、資料の保管や展示が行われています。

付属資料 図 II-22 配置状況・外観写真（社会教育・文化施設）





中央図書館



大東図書館



大須賀図書館



二の丸美術館



ステンドグラス美術館



掛川城天守閣



掛川城御殿



二の丸茶室



竹の丸



埋蔵文化財センター



旧山崎家住宅（松ヶ岡）



吉岡彌生記念館



湧水亭（清水邸庭園）



大須賀歴史民俗資料館

II-3-1 図書館

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 老朽化度は、大須賀図書館が最も高く、51.7%となっており、老朽化が進行しています。
- ・ 一方、中央図書館、大東図書館は老朽化度が低く、比較的新しい施設となっています。

付属資料 図 II-23 老朽化状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
中央図書館	4,732	H12	35.0	0	100
大東図書館	3,650	H19	23.3		
大須賀図書館	1,119	H2	51.7		

(2) 利用状況の把握

- ・ 年間の平均貸出冊数は3施設合計で94万冊程度となっています。平均蔵書冊数は3施設合計で61万冊程度となっており、平均すると一冊あたり年間1.5回程度の貸出があります。
- ・ 蔵書冊数あたり貸出冊数で見ると、中央図書館が最も高く、本の貸出の回転率が高い状態です。一方、大須賀図書館は貸出冊数が蔵書冊数より少なくなっており、本の貸出の回転率が低くなっています。

付属資料 図 II-24 利用状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	平均貸出 冊数(冊)	平均蔵書 冊数(冊)	貸出冊数/ 蔵書冊数	貸出冊数/蔵書冊数				
					0.0	0.5	1.0	1.5	2.0
中央図書館	4,732	630,433	329,644	1.9					
大東図書館	3,650	215,987	179,274	1.2					
大須賀図書館	1,119	90,898	102,605	0.9					

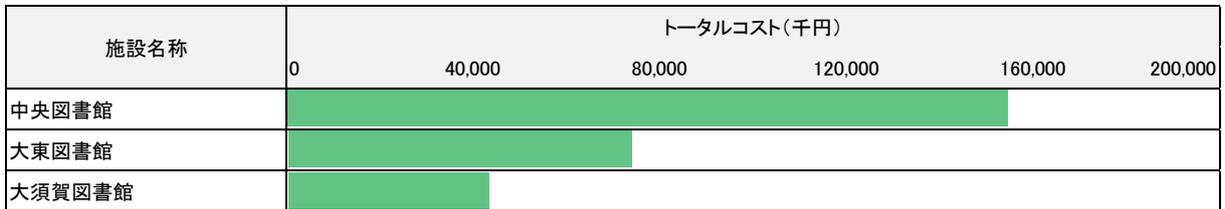
※平均貸出冊数、平均蔵書冊数は平成27年度から平成29年度までの実績をもとに平均値を算出しています。

(3) コスト状況の把握

- ・ 図書館に係るコストは中央図書館が最も高く、年間 1.5 億円程度となっています。内訳を見ると、人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。
- ・ 一方、コストが最も低い施設は大須賀図書館であり、内訳を見ると、中央図書館と同様に、人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-25 コスト状況（図書館）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
中央図書館	27,584	34,050	93,201	154,835
大東図書館	20,582	13,251	40,024	73,857
大須賀図書館	5,408	10,066	27,872	43,345



II-3-2 美術館

(1) 老朽化状況の把握

- ・ ステンドグラス美術館は平成 27 年度に建設され、老朽化度は 20.0%と低い値となっており、比較的新しい施設となっています。

付属資料 図 II-26 老朽化状況（美術館）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
二の丸美術館	988	H9	40.0		
ステンドグラス美術館	227	H27	20.0		

(2) 利用状況の把握

- ・ 面積あたり 1 日あたり平均利用者数は、ステンドグラス美術館の方が高くなっています。

付属資料 図 II-27 利用状況（美術館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.150	0.30	0.450	0.6
二の丸美術館	988	23,510	21,879	28,249	24,546	0.09					
ステンドグラス美術館	227	52,210	33,816	30,005	38,677	0.54					

(3) コスト状況の把握

- ・ 二の丸美術館に係るコストは合計で1億円程度となっており、内訳を見ると、指定管理料が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-28 コスト状況（美術館）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
二の丸美術館	19,795	32,879	9,607	40,472	102,752
ステンドグラス美術館	7,728	31,096	0	26,329	65,154

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
二の丸美術館						
ステンドグラス美術館						

II-3-3 その他社会教育文化施設

(1) 老朽化状況の把握

- 掛川城御殿、旧山崎家住宅（松ヶ岡）は江戸時代、竹の丸は明治時代に建築された歴史的な建物です。これらを除くと、掛川城天守閣、二の丸茶室、湧水亭（清水邸庭園）、大須賀歴史民俗資料館は木造のため、老朽化度が高くなっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-29 老朽化状況（その他社会教育文化施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
掛川城天守閣	357	H5	89.6		
掛川城御殿	932	万延1	—	—	
二の丸茶室	185	H13	66.7		
竹の丸	881	M36	—	—	
埋蔵文化財センター	1,170	H19	46.3		
旧山崎家住宅(松ヶ岡)	1,153	安政2	—	—	
吉岡彌生記念館	947	H10	54.1		
湧水亭(清水邸庭園)	100	H3	100.0		
大須賀歴史民俗資料館	544	H4	96.7		

(2) 利用状況の把握

- 利用者数は、掛川城天守閣及び掛川城御殿が他施設に比べて多くなっています。
- 一方、埋蔵文化財センター、大須賀歴史民俗資料館は、利用者数が年間数百人程度と少なくなっています。

付属資料 図 II-30 利用状況（その他社会教育文化施設）

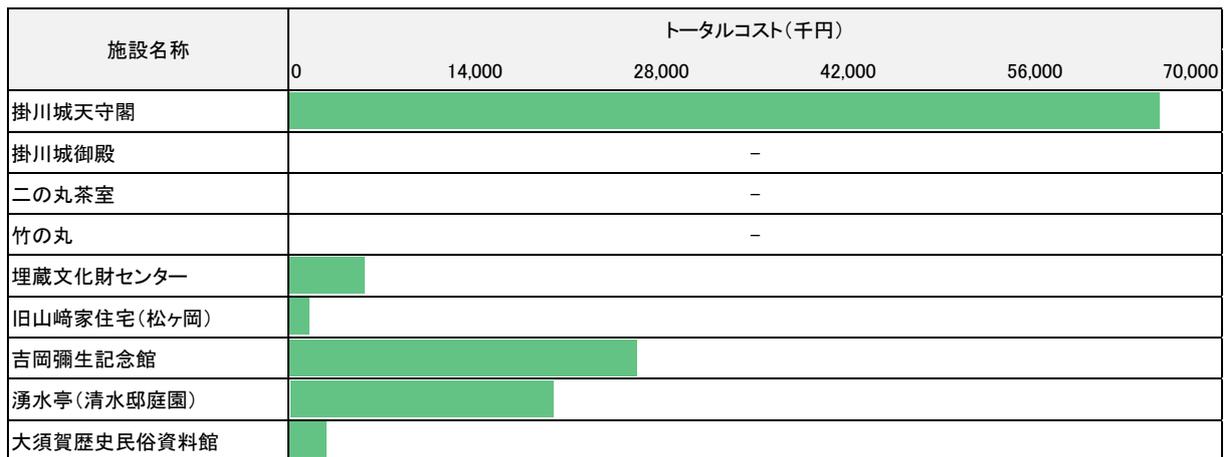
施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.30	0.6	0.90	1.2
掛川城天守閣	357	129,660	140,975	148,868	139,834	1.07					
掛川城御殿	932	129,660	140,975	148,868	139,834	0.41					
二の丸茶室	185	17,639	19,269	22,188	19,699	0.29					
竹の丸	881	22,394	24,814	26,705	24,638	0.08					
埋蔵文化財センター	1,170	195	140	216	184	0.00					
旧山崎家住宅(松ヶ岡)	1,153	2,301	3,379	2,716	2,799	0.03					
吉岡彌生記念館	947	1,944	1,872	3,007	2,274	0.01					
湧水亭(清水邸庭園)	100	3,777	3,831	2,851	3,486	0.11					
大須賀歴史民俗資料館	544	740	964	931	878	0.01					

(3) コスト状況の把握

- ・ 掛川城天守閣、掛川城御殿、二の丸茶室、竹の丸、湧水亭（清水邸庭園）は指定管理者制度を導入しています。
- ・ 指定管理者制度を導入していない吉岡彌生記念館のコストが最も高くなっています。

付属資料 図 II-31 コスト状況（その他社会教育文化施設）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
掛川城天守閣	12,941	44,265	0	8,345	65,551
掛川城御殿	-	-	-	-	-
二の丸茶室	-	-	-	-	-
竹の丸	-	-	-	-	-
埋蔵文化財センター	1,801	337	3,531	-	5,669
旧山崎家住宅(松ヶ岡)	1,057	303	87	-	1,447
吉岡彌生記念館	8,096	5,418	12,628	-	26,143
湧水亭(清水邸庭園)	5,403	5,675	0	8,713	19,792
大須賀歴史民俗資料館	770	61	1,855	-	2,686

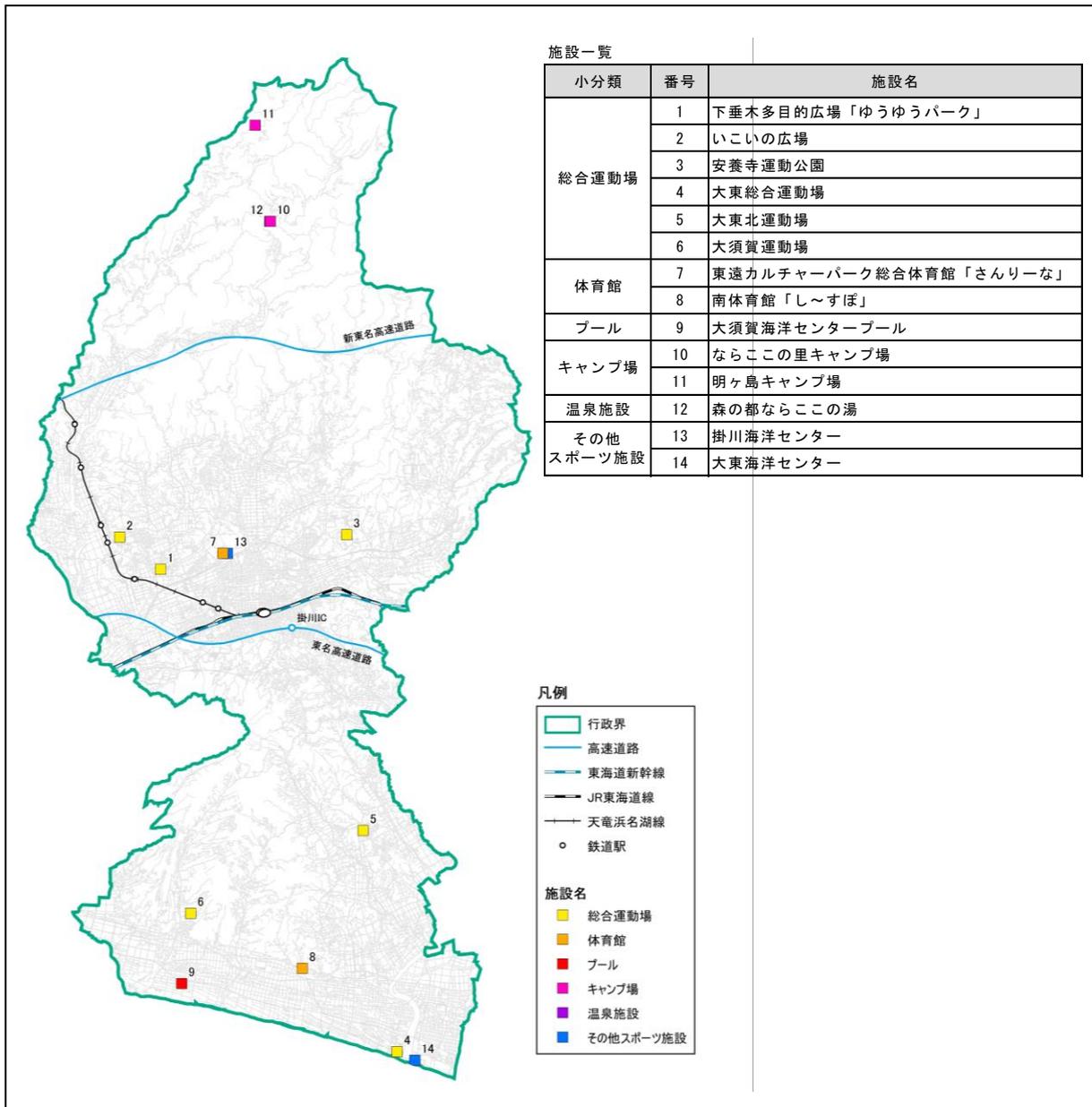


※掛川城御殿、二の丸茶室、竹の丸のトータルコストは、掛川城天守閣に含めて計上しています。

II-4 スポーツ・レクリエーション施設

- ・ スポーツ・レクリエーション施設には、総合運動場が6件、体育館が2件、プールが1件、キャンプ場が2件、温泉施設が1件、その他スポーツ施設が2件あります。
- ・ 総合運動場には、下垂木多目的広場「ゆうゆうパーク」、いこいの広場、安養寺運動公園、大東総合運動場、大東北運動場、大須賀運動場があります。
- ・ 体育館のうち、東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」は、平成15年度に総合体育館として整備しています。大東体育館と大須賀体育館は平成23年度に利用を停止し、平成26年度に、南体育館「し～すぼ」がオープンしました。

付属資料 図 II-32 配置状況・外観写真（スポーツ・レクリエーション施設）





下垂木多目的広場
「ゆうゆうパーク」



いこいの広場



安養寺運動公園



大東総合運動場



大東北運動場



大須賀運動場



東遠カルチャーパーク
総合体育館「さんりーな」



南体育館「し～すぽ」



大須賀海洋センタープール



ならここの里キャンプ場



明ヶ島キャンプ場



森の都ならここの湯



掛川海洋センター



大東海洋センター

II-4-1 総合運動場

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 老朽化度は、大須賀運動場が 71.7%と最も高くなっており、施設の老朽化が進行しています。
- ・ 一方、下垂木多目的広場「ゆうゆうパーク」は平成 12 年度に建設され、老朽化度は 35.0%と低くなっており、比較的新しい施設となっています。

付属資料 図 II-33 老朽化状況（総合運動場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
下垂木多目的広場「ゆうゆうパーク」	43	H12	35.0	0	100
いこいの広場	1,597	H8	42.9		
安養寺運動公園	530	H2	51.7		
大東総合運動場	1,497	H13	49.4		
大東北運動場	168	H2	51.7		
大須賀運動場	73	S53	71.7		

※総合運動場の施設は、管理事務所、便所、休憩所等を対象としています。

(2) 利用状況の把握

- ・ 年間平均利用者数は、いこいの広場が最も多く、8万人程度となっています。

付属資料 図 II-34 利用状況（総合運動場）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1日 あたり平均利 用者数(人/ ㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
下垂木多目的広場「ゆうゆうパーク」	43	23,546	24,351	20,899	22,932	2.50					
いこいの広場	1,597	79,575	77,144	84,222	80,314	0.16					
安養寺運動公園	530	35,558	37,341	36,747	36,549	0.22					
大東総合運動場	1,497	48,805	50,201	45,487	48,164	0.10					
大東北運動場	168	21,158	22,278	22,029	21,822	0.42					
大須賀運動場	73	3,819	3,359	4,987	4,055	0.18					

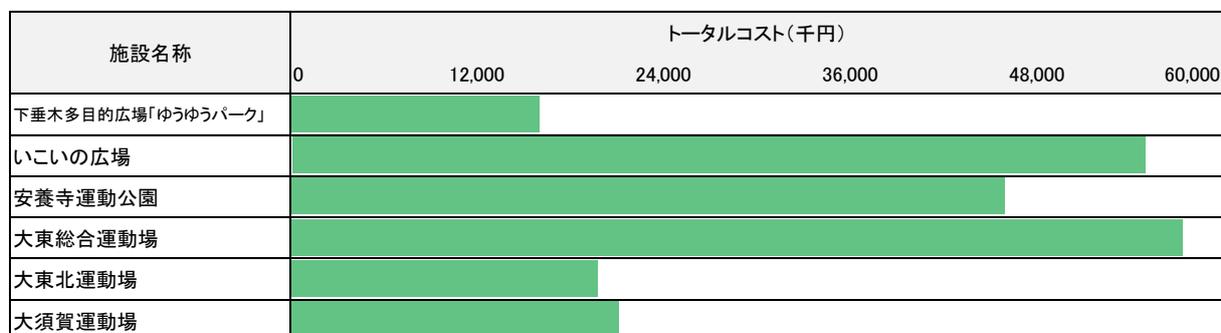
※総合運動場の施設は、管理事務所、便所、休憩所等を対象としています。

(3) コスト状況の把握

- ・ 総合運動場は全施設で指定管理者制度を導入しています。
- ・ いこいの広場、安養寺運動公園、大東総合運動場については、他の施設よりも指定管理料が高くなっています。

付属資料 図 II-35 コスト状況（総合運動場）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
下垂木多目的広場「ゆうゆうパーク」	3,090	4,664	3,635	4,599	15,987
いこいの広場	14,198	16,809	3,635	20,419	55,061
安養寺運動公園	9,960	14,815	3,635	17,645	46,055
大東総合運動場	19,311	13,454	3,635	21,048	57,449
大東北運動場	4,162	5,711	3,635	6,227	19,735
大須賀運動場	4,037	5,778	3,635	7,646	21,095



※総合運動場の施設は、管理事務所、便所、休憩所等を対象としています。

II-4-2 体育館

(1) 老朽化状況の把握

- 南体育館「し～すぽ」は、平成 25 年度に開設された施設であるため、老朽化度は低くなっています。

付属資料 図 II-36 老朽化状況（体育館）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」	10,578	H15	30.0	0	100
南体育館「し～すぽ」	3,420	H25	13.3		

(2) 利用状況の把握

- 貸部屋等利用率は、両施設ともに約 70%を超えており、高い値となっています。

付属資料 図 II-37 利用状況（体育館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率(%)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.0	25.00	50.00	75.00	100.0
東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」	10,578	280,703	282,260	312,551	291,838	0.09	82.5					
南体育館「し～すぽ」	3,420	88,113	91,583	99,654	93,117	0.08	71.9					

(3) コスト状況の把握

- 両施設ともに指定管理者制度を導入しています。
- 体育館に係るコストは、内訳を見ると、施設維持管理コスト、施設運営コスト、指定管理料が同程度の金額となっています。

付属資料 図 II-38 コスト状況（体育館）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」	106,631	92,517	3,876	136,592	339,617
南体育館「し～すぽ」	22,443	21,307	3,635	15,728	63,113

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	80,000	160,000	240,000	320,000	400,000
東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」						
南体育館「し～すぽ」						

II-4-3 プール

(1) 老朽化状況の把握

- 大須賀海洋センタープールの老朽化度は 58.3%となっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-39 老朽化状況（プール）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
大須賀海洋センタープール	1,010	S61	58.3		

(2) 利用状況の把握

- 大須賀海洋センタープールの面積あたり 1 日あたり平均利用者数は 0.7 人/㎡・日となっており、年平均利用者数は数百人程度とそれほど多くない状況です。

付属資料 図 II-40 利用状況（プール）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.5	1.0	1.5	2.0
大須賀海洋センタープール	1,010	823	735	619	726	0.7					

(3) コスト状況の把握

- 大須賀海洋センタープールに係るコストは、人件費（賃金含）が半分以上を占めています。

付属資料 図 II-41 コスト状況（プール）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
大須賀海洋センタープール	1,239	500	3,635	1,261	6,635

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	1,400	2,800	4,200	5,600
大須賀海洋センタープール					

II-4-4 キャンプ場

(1) 老朽化状況の把握

- ・ キャンプ場の老朽化度は、ならここの里キャンプ場、明ヶ島キャンプ場ともに老朽化度は高くなっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-42 老朽化状況（キャンプ場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
ならここの里キャンプ場	1,761	S57	100.0	0	100
明ヶ島キャンプ場	233	S54	100.0		

(2) 利用状況の把握

- ・ ならここの里キャンプ場は、利用者数が年間5~6万人程度となっています。
- ・ 明ヶ島キャンプ場は、平成26年度から閉鎖していましたが、平成29年度にリニューアルオープンされました。

付属資料 図 II-43 利用状況（キャンプ場）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.25	0.5	0.75	1.0
ならここの里キャンプ場	1,761	54,650	57,235	59,112	56,999	0.09					
明ヶ島キャンプ場	233	-	-	1,620	1,620	0.03					

(3) コスト状況の把握

- ・ ならここの里キャンプ場は、指定管理者制度を導入していますが、市から指定管理料は支出していません。
- ・ 明ヶ島キャンプ場は、民間貸付により市内の民間事業者が管理運営を行っています。

付属資料 図 II-44 コスト状況（キャンプ場）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
ならここの里キャンプ場	19,701	27,499	1,557	48,758
明ヶ島キャンプ場	3,080	4,872	1,557	9,509

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
ならここの里キャンプ場						
明ヶ島キャンプ場						

II-4-5 温泉施設

(1) 老朽化状況の把握

- 森の都ならここの湯は、ならここの里キャンプ場の複合施設であり、築年数は浅く、老朽化度はそれほど高くありませんが、一部設備の老朽化は進んでいます。

付属資料 図 II-45 老朽化状況（温泉施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
森の都ならここの湯	373	H15	30.0	0	100

(2) 利用状況の把握

- 森の都ならここの湯の利用者数は、年間9万人程度となっています。

付属資料 図 II-46 利用状況（温泉施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.25	0.5	0.75	1.0
森の都ならここの湯	373	93,239	90,563	87,683	90,495	0.72					

(3) コスト状況の把握

- 森の都ならここの湯は、ならここの里キャンプ場と同様に指定管理者制度を導入していますが、市から指定管理料は支出していません。

付属資料 図 II-47 コスト状況（温泉施設）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
森の都ならここの湯	29,782	22,576	1,557	53,915

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	12,000	24,000	36,000	48,000	60,000
森の都ならここの湯						

II-4-6 その他スポーツ施設

(1) 老朽化状況の把握

- 掛川海洋センター及び大東海洋センターの老朽化度は 50%を超えており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-48 老朽化状況（その他スポーツ施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
掛川海洋センター	1,302	S56	66.7	0	100
大東海洋センター	1,023	H4	58.6		

(2) 利用状況の把握

- 掛川海洋センターは、体育館と艇庫を有した施設であり、利用者数は年間2万人程度となっています。
- 大東海洋センターは、艇庫を有した施設であり、利用者数は年間数百人程度とそれほど多くない状況となっています。

付属資料 図 II-49 利用状況（その他スポーツ施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.25	0.5	0.75	1.0
掛川海洋センター	1,302	14,453	19,611	24,703	19,589	0.05					
大東海洋センター	1,023	344	300	294	313	0.00					

(3) コスト状況の把握

- 両施設ともに指定管理者制度を導入しており、コストの内訳を見ると、施設運営コスト及び指定管理料が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-50 コスト状況（その他スポーツ施設）

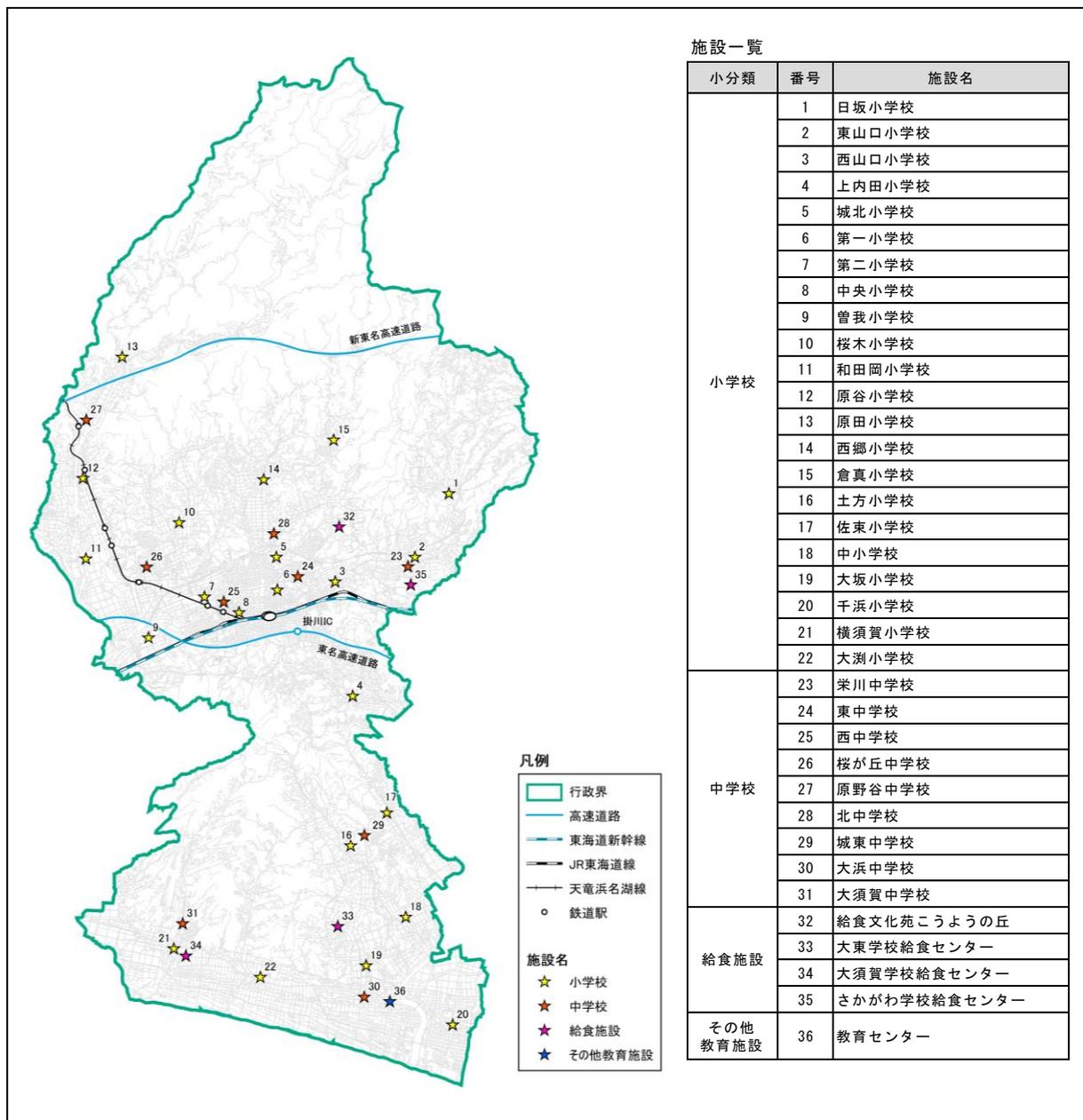
施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
掛川海洋センター	2,921	10,771	3,635	11,356	28,684
大東海洋センター	988	3,169	3,635	3,872	11,665

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	6,000	12,000	18,000	24,000	30,000
掛川海洋センター	[Bar chart showing total cost distribution]					
大東海洋センター	[Bar chart showing total cost distribution]					

II-5 学校・教育施設

- 学校・教育施設は、小学校が22校、中学校が9校、給食施設が4施設、その他教育施設が1件あります。
- 小学校、中学校は総じて築年が古い建物が多い傾向にあります。35人学級が採用されており、少人数でのクラス運営が行われています。
- 給食施設は、3単独調理場と5共同調理場が1つに統合され、平成29年度にさかがわ学校給食センターが開設されました。
- その他教育施設の教育センターは、大東支所4階に設置し、外国人児童生徒支援室、学校図書館支援室、みどり教室（教育支援室）があり、教育相談、教員の研修、子ども達の支援等を行っています。

付属資料 図 II-51 配置状況・外観写真（学校・教育施設）





日坂小学校



東山口小学校



西山口小学校



上内田小学校



城北小学校



第一小学校



第二小学校



中央小学校



曾我小学校



桜木小学校



和田岡小学校



原谷小学校



原田小学校



西郷小学校



倉真小学校



土方小学校



佐東小学校



中小学校



大坂小学校



千浜小学校



横須賀小学校



大淵小学校



栄川中学校



東中学校



西中学校



桜が丘中学校



原野谷中学校



北中学校



城東中学校



大浜中学校



大須賀中学校



給食文化苑こうようの丘



大東学校給食センター



大須賀学校給食センター



さかがわ学校給食センター



教育センター

II-5-1 小学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 小学校の老朽化度は、全体的に 50%を超えており、老朽化が進行しています。
- ・ 中央小学校の校舎（北棟及び西棟）、大坂小学校及び千浜小学校の体育館は、建物の老朽化に伴い改築工事が実施されたため、老朽化度は低い値となっています。

付属資料 図 II-52 老朽化状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
日坂小学校	校舎	1,731	S53	71.4	
	体育館	692	S56	66.7	
	その他	71	S53	75.9	
東山口小学校	校舎	2,914	S56	66.7	
	体育館	699	S57	65.0	
	その他	220	H1	61.9	
西山口小学校	校舎	3,712	S40	86.5	
	体育館	949	S56	66.7	
	その他	229	S50	100.0	
上内田小学校	校舎	2,556	S51	65.8	
	体育館	698	S57	65.0	
	その他	30	S39	100.0	
城北小学校	校舎	5,306	S48	74.7	
	体育館	1,138	S63	55.0	
	その他	168	S48	98.2	
第一小学校	校舎	4,451	S37	84.1	
	体育館	924	S62	56.7	
	その他	182	H8	61.9	
第二小学校	校舎	4,139	S52	55.9	
	体育館	706	S59	61.7	
	その他	110	S52	67.2	
中央小学校	校舎	6,107	H29	17.8	
	体育館	950	S57	65.0	
	その他	114	S63	58.5	
曾我小学校	校舎	2,205	S45	85.0	
	体育館	700	S58	63.3	
	その他	87	S57	53.6	
桜木小学校	校舎	5,750	S55	64.3	
	体育館	950	S58	63.3	
	その他	164	S54	81.4	
和田岡小学校	校舎	3,066	S54	62.6	
	体育館	700	S59	61.7	
	その他	39	S54	70.0	
原谷小学校	校舎	3,212	S46	73.3	
	体育館	698	S56	66.7	
	その他	214	S62	64.5	

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
				0	100
原田小学校	校舎	1,708	S55	67.9	
	体育館	699	S56	66.7	
	その他	120	S55	68.3	
西郷小学校	校舎	3,290	S54	68.7	
	体育館	1,037	S62	56.7	
	その他	196	S47	88.4	
倉真小学校	校舎	1,686	S56	66.7	
	体育館	701	S61	58.3	
	その他	101	S56	92.4	
土方小学校	校舎	3,040	S57	83.3	
	体育館	805	S51	75.0	
	その他	224	H15	32.6	
佐束小学校	校舎	3,135	S56	62.9	
	体育館	805	S52	73.3	
	その他	176	S56	74.4	
中小学校	校舎	2,120	S54	60.2	
	体育館	805	S54	70.0	
	その他	132	S54	56.0	
大坂小学校	校舎	4,952	S47	74.7	
	体育館	949	H28	8.3	
	その他	140	S50	78.3	
千浜小学校	校舎	3,640	S54	79.3	
	体育館	911	H29	6.7	
	その他	166	S48	100.0	
横須賀小学校	校舎	4,619	S59	70.1	
	体育館	975	H17	26.7	
	その他	164	S61	58.3	
大淵小学校	校舎	2,647	S49	76.9	
	体育館	717	S51	75.0	
	その他	211	S56	100.0	

(2) 利用状況の把握

- 日坂小学校、東山口小学校、上内田小学校、曾我小学校、和田岡小学校、原谷小学校、原田小学校、倉真小学校、土方小学校、佐束小学校、中小学校、千浜小学校、大淵小学校は、児童1人あたり面積が広く、小規模な学校となっています。

付属資料 図 II-53 利用状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	児童数(人)				児童1人あ たり面積 (㎡/人)	児童1人あたり面積(㎡/人)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	10.0	20.0	30.0	40.0
日坂小学校	2,494	77	79	79	78	31.8					
東山口小学校	3,833	141	136	136	138	27.8					
西山口小学校	4,890	483	495	495	491	10.0					
上内田小学校	3,284	110	123	123	119	27.7					
城北小学校	6,612	633	601	601	612	10.8					
第一小学校	5,557	562	564	564	563	9.9					
第二小学校	4,955	519	525	525	523	9.5					
中央小学校	7,171	616	604	604	608	11.8					
曾我小学校	2,992	186	185	185	185	16.1					
桜木小学校	6,864	699	682	682	688	10.0					
和田岡小学校	3,805	166	162	162	163	23.3					
原谷小学校	4,124	195	201	201	199	20.7					
原田小学校	2,527	77	80	80	79	32.0					
西郷小学校	4,523	372	362	362	365	12.4					
倉真小学校	2,488	75	74	74	74	33.5					
土方小学校	4,069	143	139	139	140	29.0					
佐束小学校	4,116	188	179	179	182	22.6					
中小学校	3,057	109	109	109	109	28.0					
大坂小学校	6,041	456	446	446	449	13.4					
千浜小学校	4,717	188	178	178	181	26.0					
横須賀小学校	5,758	425	430	430	428	13.4					
大淵小学校	3,575	171	173	173	172	20.7					

(3) コスト状況の把握

- ・ 小学校に係るコストは、内訳を見ると、施設維持管理コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-54 コスト状況（小学校）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
日坂小学校	9,138	3,089	6,741	18,968
東山口小学校	15,998	3,759	6,996	26,753
西山口小学校	11,553	5,108	9,201	25,863
上内田小学校	11,413	3,313	7,843	22,569
城北小学校	12,653	7,527	9,213	29,393
第一小学校	11,460	6,999	11,932	30,392
第二小学校	9,612	5,429	6,675	21,715
中央小学校	18,280	7,700	9,156	35,136
曾我小学校	7,996	3,368	4,075	15,439
桜木小学校	11,311	7,340	6,716	25,367
和田岡小学校	7,470	3,562	4,052	15,083
原谷小学校	11,146	3,941	4,025	19,111
原田小学校	7,018	2,900	4,052	13,970
西郷小学校	16,341	5,414	6,823	28,578
倉真小学校	7,077	3,221	4,016	14,315
土方小学校	7,521	3,361	4,128	15,010
佐東小学校	7,116	3,362	6,950	17,428
中小学校	8,091	3,209	4,101	15,401
大坂小学校	17,158	5,501	9,249	31,907
千浜小学校	8,847	3,830	6,651	19,328
横須賀小学校	8,978	6,255	11,184	26,417
大淵小学校	7,251	3,304	4,272	14,828

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	8,000	16,000	24,000	32,000	40,000
日坂小学校						
東山口小学校						
西山口小学校						
上内田小学校						
城北小学校						
第一小学校						
第二小学校						
中央小学校						
曾我小学校						
桜木小学校						
和田岡小学校						
原谷小学校						
原田小学校						
西郷小学校						
倉真小学校						
土方小学校						
佐東小学校						
中小学校						
大坂小学校						
千浜小学校						
横須賀小学校						
大淵小学校						

II-5-2 中学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 中学校の老朽化度は、全体的に 50%を超えており、特に校舎について老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-55 老朽化状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
栄川中学校	校舎	3,255	S53	65.5	
	体育館	1,148	S53	58.7	
	その他	226	S53	71.7	
東中学校	校舎	5,436	S43	79.1	
	体育館	1,400	H16	28.3	
	その他	274	H14	66.8	
西中学校	校舎	6,300	S42	71.4	
	体育館	1,401	H17	26.7	
	その他	640	H5	72.2	
桜が丘中学校	校舎	4,846	S55	64.3	
	体育館	1,406	H19	23.3	
	その他	253	H8	47.8	
原野谷中学校	校舎	3,174	S35	88.0	
	体育館	1,308	H22	18.3	
	その他	253	H6	45.4	
北中学校	校舎	7,316	H10	40.8	
	体育館	1,440	H21	20.0	
	その他	232	S50	91.9	
城東中学校	校舎	4,422	S49	71.4	
	体育館	1,145	S51	70.1	
	その他	380	S49	97.8	
大浜中学校	校舎	5,381	S55	72.2	
	体育館	2,595	H4	58.9	
	その他	993	H6	70.5	
大須賀中学校	校舎	5,824	H14	31.7	
	体育館	2,391	H15	36.2	
	その他	1,036	H15	32.8	

(2) 利用状況の把握

- ・ 栄川中学校、原野谷中学校、城東中学校、大浜中学校、大須賀中学校の生徒1人あたり面積は広くなっており、小規模な学校となっています。

付属資料 図 II-56 利用状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	生徒数(人)				生徒1人あ たり面積 (㎡/人)	生徒1人あたり面積(㎡/人)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	15.0	30.0	45.0	60.0
栄川中学校	4,629	97	111	111	106	43.5					
東中学校	7,110	533	555	555	548	13.0					
西中学校	8,341	638	627	627	631	13.2					
桜が丘中学校	6,505	443	459	459	454	14.3					
原野谷中学校	4,735	127	124	124	125	37.9					
北中学校	8,988	477	495	495	489	18.4					
城東中学校	5,947	213	217	217	216	27.6					
大浜中学校	8,969	318	321	321	320	28.0					
大須賀中学校	9,251	309	316	316	314	29.5					

(3) コスト状況の把握

- ・ 中学校に係るコストは、内訳を見ると、施設維持管理コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-57 コスト状況（中学校）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
栄川中学校	8,995	4,182	12,444	25,621
東中学校	11,314	9,488	12,646	33,448
西中学校	12,900	8,067	6,711	27,678
桜が丘中学校	16,489	7,088	9,082	32,660
原野谷中学校	8,811	4,096	6,722	19,628
北中学校	18,508	8,009	12,415	38,933
城東中学校	8,980	5,370	12,580	26,930
大浜中学校	14,018	5,541	9,291	28,850
大須賀中学校	22,218	6,093	6,625	34,936

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	8,000	16,000	24,000	32,000	40,000
栄川中学校						
東中学校						
西中学校						
桜が丘中学校						
原野谷中学校						
北中学校						
城東中学校						
大浜中学校						
大須賀中学校						

II-5-3 給食施設

(1) 老朽化状況の把握

- 給食施設の老朽化度は、大須賀学校給食センターが最も高く、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-58 老朽化状況（給食施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
給食文化苑こようの丘	1,682	H14	31.7	0	100
大東学校給食センター	1,537	H12	35.0		
大須賀学校給食センター	982	H1	53.3		
さかがわ学校給食センター	2,571	H29	6.7		

(2) 利用状況の把握

- 稼働日1日あたり配食数は、さかがわ学校給食センターが最も高い値となっています。

付属資料 図 II-59 利用状況（給食施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	配食数(食)	稼働日1日 あたり配食数 (食/日)	稼働日1日あたり配食数(食/日)				
		H29		0.0	1000	2000	3000	4000
給食文化苑こようの丘	1,682	499,473	2,055.4					
大東学校給食センター	1,537	408,573	1,589.8					
大須賀学校給食センター	982	213,243	870.4					
さかがわ学校給食センター	2,571	943,300	3,803.6					

※さかがわ学校給食センターが平成29年度に開設されたことから、平成29年度の実績値で比較しています。

(3) コスト状況の把握

- 給食施設に係るコストは、給食文化苑こよの丘と大東学校給食センターの2施設が他と比較して高い値となっています。

付属資料 図 II-60 コスト状況（給食施設）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
給食文化苑こよの丘	30,241	60,478	12,987	103,706
大東学校給食センター	22,201	65,239	13,023	100,463
大須賀学校給食センター	12,445	35,545	18,145	66,135
さかがわ学校給食センター	24,878	15,970	31,304	72,152



II-5-4 その他教育施設

(1) 老朽化状況の把握

- 教育センターは大東支所 4 階に設置されています。老朽化度は 55.0%となっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-61 老朽化状況（その他教育施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
教育センター	548	S63	55.0	0	100

(2) 利用状況の把握

- 教育センターの利用者数は、年間 2,000 人程度となっています。

付属資料 図 II-62 利用状況（その他教育施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.05	0.1	0.15	0.2
教育センター	548	2,115	2,270	2,129	2,171	0.02					

(3) コスト状況の把握

- 教育センターは大東支所の複合施設であることから、コストの内訳を見ると、施設運営コストや人件費（賃金含）が多くの割合を占めています。

付属資料 図 II-63 コスト状況（その他教育施設）

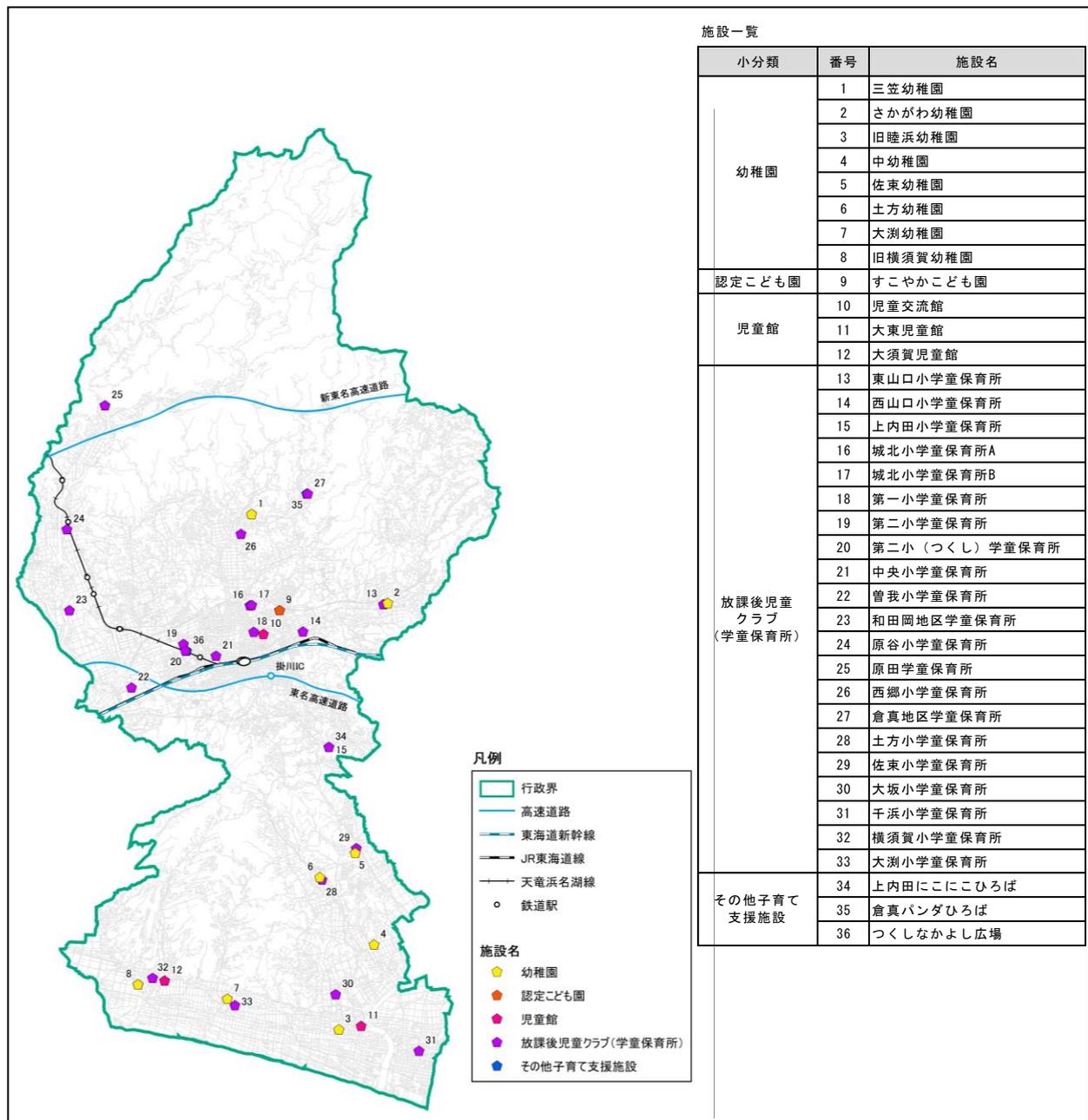
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
教育センター	82	2,573	8,956	11,610

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	2,400	4,800	7,200	9,600	12,000
教育センター						

II-6 子育て支援施設

- 子育て支援施設は、幼稚園が6園、認定こども園が1園、児童館が3館、放課後児童クラブ（学童保育所）が21施設、その他子育て支援施設が3施設、閉園した幼稚園施設が2施設あります。
- すこやかこども園は、幼稚園と保育園を一体で整備した乳幼児センターすこやか（幼保園）として平成15年度に開園し、平成29年度に認定こども園に移行しました。
- 児童館には、児童交流館、大東児童館、大須賀児童館があり、単独施設ではなく、他の施設との複合施設となっています。
- 放課後児童クラブ（学童保育所）は、単独施設として小学校の敷地内等に整備しているもののほか、小学校の空き教室を利用して整備しているものがあります。

付属資料 図 II-64 配置状況・外観写真（子育て支援施設）





三笠幼稚園



さかがわ幼稚園



旧睦浜幼稚園



中幼稚園



佐東幼稚園



土方幼稚園



大淵幼稚園



旧横須賀幼稚園



すこやかこども園



児童交流館



大東児童館



大須賀児童館



東山口小学童保育所



西山口小学童保育所



上内田小学童保育所



城北小学童保育所 A



城北小学童保育所 B



第一小学童保育所



第二小学童保育所



第二小（つくし）学童保育所



中央小学童保育所



曾我小学童保育所



和田岡地区学童保育所



原谷小学童保育所



原田学童保育所



西郷小学童保育所



倉真地区学童保育所



土方小学童保育所



佐東小学童保育所



大坂小学童保育所



千浜小学童保育所



横須賀小学童保育所



大淵小学童保育所



上内田にこにこひろば



倉真パンダひろば



つくしなかよし広場

II-6-1 幼稚園

(1) 老朽化状況の把握

- 老朽化度は、三笠幼稚園、さかがわ幼稚園において低い値となっていますが、それ以外の施設では50%以上と高い値となっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-65 老朽化状況（幼稚園）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
三笠幼稚園	1,300	H21	40.0		
さかがわ幼稚園	781	H23	33.3		
旧睦浜幼稚園	964	S57	65.4		
中幼稚園	604	S59	62.7		
佐東幼稚園	973	S60	60.0		
土方幼稚園	903	S52	71.5		
大淵幼稚園	1,115	S52	71.7		
旧横須賀幼稚園	1,491	S54	70.0		

(2) 利用状況の把握

- 園児1人あたり面積は、旧睦浜幼稚園が24.5㎡/人と最も高くなっています。

付属資料 図 II-66 利用状況（幼稚園）

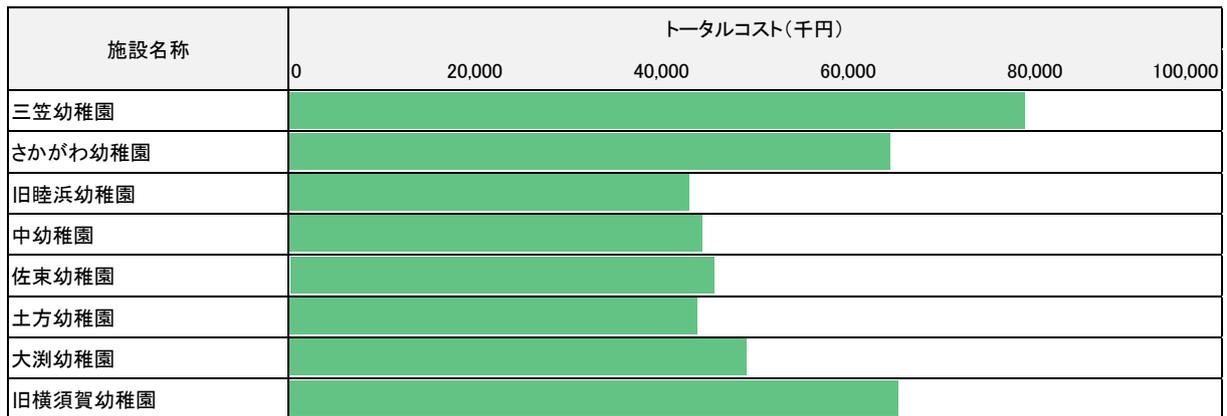
施設名称	延床面積 (㎡)	園児数(人)				園児1人 あたり面 積(㎡/ 人)	園児1人あたり面積(㎡/人)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	7.5	15.0	22.5	30.0
三笠幼稚園	1,300	151	151	137	146	8.9					
さかがわ幼稚園	781	90	90	85	88	8.8					
旧睦浜幼稚園	964	46	45	27	39	24.5					
中幼稚園	604	32	35	31	33	18.5					
佐東幼稚園	973	55	69	71	65	15.0					
土方幼稚園	903	65	60	50	58	15.5					
大淵幼稚園	1,115	52	57	54	54	20.5					
旧横須賀幼稚園	1,491	97	94	87	93	16.1					

(3) コスト状況の把握

- ・ 幼稚園に係るコストは、内訳を見ると、人件費（賃金含）が多くを占めています。
- ・ 園児数の多い三笠幼稚園、さかがわ幼稚園、旧横須賀幼稚園は、他の施設と比較して高い値となっています。

付属資料 図 II-67 コスト状況（幼稚園）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
三笠幼稚園	4,039	1,502	73,483	79,023
さかがわ幼稚園	2,345	978	61,272	64,595
旧睦浜幼稚園	1,929	846	40,243	43,018
中幼稚園	1,500	866	41,952	44,317
佐束幼稚園	2,086	1,048	42,427	45,561
土方幼稚園	2,441	1,094	40,209	43,744
大淵幼稚園	2,357	1,032	45,647	49,037
旧横須賀幼稚園	3,623	1,103	60,723	65,449



II-6-2 認定こども園

本市が運営している認定こども園は「すこやかこども園」の1園のみであるため、この施設のみを掲載しています。なお、市内には、私立認定こども園が12園、私立保育園が10園あります。

(1) 老朽化状況の把握

- すこやかこども園は、築年数が浅いことから、老朽化度は低い値となっておりますが、雨漏り対策等、大規模修繕が必要な時期になっています。

付属資料 図 II-68 老朽化状況（認定こども園）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
すこやかこども園	2,887	H14	31.7		

(2) 利用状況の把握

- すこやかこども園の園児1人あたり面積は9.6㎡/人となっています。

付属資料 図 II-69 利用状況（認定こども園）

施設名称	延床面積 (㎡)	園児数(人)				園児1人 あたり面 積(㎡/ 人)	園児1人あたり面積(㎡/人)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	7.5	15.0	22.5	30.0
すこやかこども園	2,887	319	302	284	302	9.6					

(3) コスト状況の把握

- すこやかこども園に係るコストは、内訳を見ると、幼稚園と同様に人件費（賃金含）が多くの割合を占めています。

付属資料 図 II-70 コスト状況（認定こども園）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
すこやかこども園	13,866	30,502	289,411	333,779

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	70,000	140,000	210,000	280,000
すこやかこども園					

II-6-3 児童館

(1) 老朽化状況の把握

- 児童交流館は総合福祉センター「あいり〜な」3階、大東児童館は大東保健センター2階、大須賀児童館は大須賀老人福祉センター2階にそれぞれ設置されています。
- 老朽化度は、全ての施設で50%を超えており、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-71 老朽化状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
児童交流館	138	S62	56.7		
大東児童館	210	S60	60.0		
大須賀児童館	286	S61	58.3		

(2) 利用状況の把握

- 利用者数は、児童交流館が最も高い値となっており、年間3~4万人程度となっています。

付属資料 図 II-72 利用状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.25	0.5	0.75	1.0
児童交流館	138	38,002	35,732	35,238	36,324	0.89					
大東児童館	210	15,560	18,692	17,787	17,346	0.28					
大須賀児童館	286	11,004	11,849	13,312	12,055	0.14					

(3) コスト状況の把握

- 児童交流館は業務委託で指定管理者制度を導入していないため、他施設と比較して施設運営コストが高くなっています。

付属資料 図 II-73 コスト状況（児童館）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
児童交流館	762	17,034	0	-	17,796
大東児童館	1,083	7,355	0	4,920	13,358
大須賀児童館	1,446	8,519	0	7,449	17,414

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	4,000	8,000	12,000	16,000	20,000
児童交流館						
大東児童館						
大須賀児童館						

II-6-4 放課後児童クラブ（学童保育所）

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 放課後児童クラブ（学童保育所）は、市の単独施設、小学校の一部施設、旧幼稚園舎・旧保育園舎を活用した施設、民間所有施設など、様々な形態で設置されています。
- ・ 老朽化度は全体的に50%を超えており、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-74 老朽化状況（放課後児童クラブ）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
				0	100
東山口小学童保育所	61	S56	66.7		
西山口小学童保育所	121	H15	30.0		
上内田小学童保育所	56	S54	70.0		
城北小学童保育所A	60	S48	80.0		
城北小学童保育所B	63	S62	56.7		
第一小学童保育所	216	H20	43.3		
第二小学童保育所	107	H16	56.7		
第二小(つくし)学童保育所	109	S51	75.0		
中央小学童保育所	136	H13	33.3		
曾我小学童保育所	104	H5	46.7		
和田岡地区学童保育所	102	H3	50.0		
原谷小学童保育所	60	S46	83.3		
原田学童保育所	77	S58	63.3		
西郷小学童保育所	98	H14	33.5		
倉真地区学童保育所	68	S54	70.0		
土方小学童保育所	67	H13	33.3		
佐束小学童保育所	79	H19	46.7		
大坂小学童保育所	61	S46	83.3		
千浜小学童保育所	42	S39	95.0		
横須賀小学童保育所	60	S49	78.3		
大淵小学童保育所	34	S51	75.0		

(2) 利用状況の把握

- ・ 利用者数あたり面積は、第一小学童保育所が最も大きくなっています。
- ・ 一方、利用者数あたり面積が小さい施設は、原田学童保育所、佐東小学童保育所、千浜小学童保育所、横須賀小学童保育所、大淵小学童保育所となっています。

付属資料 図 II-75 利用状況（放課後児童クラブ）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				利用者数あ たり面積 (㎡/人)	利用者数あたり面積(㎡/人)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
東山口小学童保育所	61	388	435	509	444	1.9					
西山口小学童保育所	121	654	681	587	641	2.2					
上内田小学童保育所	56	284	529	593	469	1.8					
城北小学童保育所A	60	628	442	350	473	1.9					
城北小学童保育所B	63	386	395	339	373	1.5					
第一小学童保育所	216	958	1,070	1,072	1,033	3.8					
第二小学童保育所	107	455	457	493	468	2.0					
第二小(つくし)学童保育所	109	493	469	484	482	2.0					
中央小学童保育所	136	739	593	640	657	2.7					
菅我小学童保育所	104	435	443	549	476	1.9					
和田岡地区学童保育所	102	353	416	390	386	1.6					
原谷小学童保育所	60	363	393	381	379	1.6					
原田学童保育所	77	170	197	252	206	0.9					
西郷小学童保育所	98	487	519	599	535	2.2					
倉真地区学童保育所	68	406	432	497	445	1.9					
土方小学童保育所	67	269	291	261	274	1.1					
佐東小学童保育所	79	186	197	225	203	0.8					
大坂小学童保育所	61	336	399	386	374	1.6					
千浜小学童保育所	42	145	162	219	175	0.7					
横須賀小学童保育所	60	248	152	277	226	0.8					
大淵小学童保育所	34	173	193	210	192	0.8					

(3) コスト状況の把握

- ・ 放課後児童クラブ（学童保育所）に係るコストは、延床面積が広く、利用者数が多いことから、第一小学童保育所が最も高い値となっています。

付属資料 図 II-76 コスト状況（放課後児童クラブ）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
東山口小学童保育所	278	5,160	0	5,438
西山口小学童保育所	1,613	9,091	0	10,704
上内田小学童保育所	1,140	3,899	0	5,038
城北小学童保育所A	772	5,453	0	6,225
城北小学童保育所B	543	4,408	0	4,951
第一小学童保育所	3,239	14,508	0	17,747
第二小学童保育所	112	7,139	0	7,251
第二小(つくし)学童保育所	78	6,949	0	7,026
中央小学童保育所	194	9,681	0	9,875
曾我小学童保育所	888	5,392	0	6,280
和田岡地区学童保育所	868	4,771	0	5,639
原谷小学童保育所	1,059	5,220	0	6,279
原田学童保育所	122	3,315	0	3,436
西郷小学童保育所	593	8,240	0	8,833
倉真地区学童保育所	408	2,441	0	2,850
土方小学童保育所	423	6,026	0	6,450
佐束小学童保育所	134	5,089	0	5,223
大坂小学童保育所	40	5,143	0	5,183
千浜小学童保育所	20	4,304	0	4,324
横須賀小学童保育所	20	5,573	0	5,593
大淵小学童保育所	20	4,168	0	4,188

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	4,000	8,000	12,000	16,000
東山口小学童保育所					
西山口小学童保育所					
上内田小学童保育所					
城北小学童保育所A					
城北小学童保育所B					
第一小学童保育所					
第二小学童保育所					
第二小(つくし)学童保育所					
中央小学童保育所					
曾我小学童保育所					
和田岡地区学童保育所					
原谷小学童保育所					
原田学童保育所					
西郷小学童保育所					
倉真地区学童保育所					
土方小学童保育所					
佐束小学童保育所					
大坂小学童保育所					
千浜小学童保育所					
横須賀小学童保育所					
大淵小学童保育所					

II-6-5 その他子育て支援施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・ その他子育て支援施設としては、上内田にこにこひろば、倉真パンダひろば、つくしなかよし広場があり、乳幼児（0 から 3 歳）を持つ親とその子どもの交流や、育児相談・講習会等を通じた子育て力の向上と、子育て支援の充実を目的につどいの広場事業を実施しています。
- ・ 老朽化度は、全ての施設で 70% を超えており、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-77 老朽化状況（その他子育て支援施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度 (%)	
				低	高
上内田にこにこひろば	405	S54	70.0	0	100
倉真パンダひろば	329	S54	70.0		
つくしなかよし広場	551	S51	75.0		

(2) 利用状況の把握

- ・ その他子育て支援施設の利用者数は、倉真パンダひろばが最も多く、年間 1 万人程度となっています。

付属資料 図 II-78 利用状況（その他子育て支援施設）

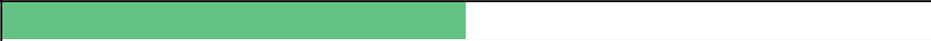
施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.05	0.1	0.15	0.2
上内田にこにこひろば	405	5,199	5,044	5,739	5,327	0.08					
倉真パンダひろば	329	11,334	10,824	11,111	11,090	0.15					
つくしなかよし広場	551	8,651	8,678	8,194	8,508	0.10					

(3) コスト状況の把握

- ・ 全ての施設において、施設運営コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-79 コスト状況（その他子育て支援施設）

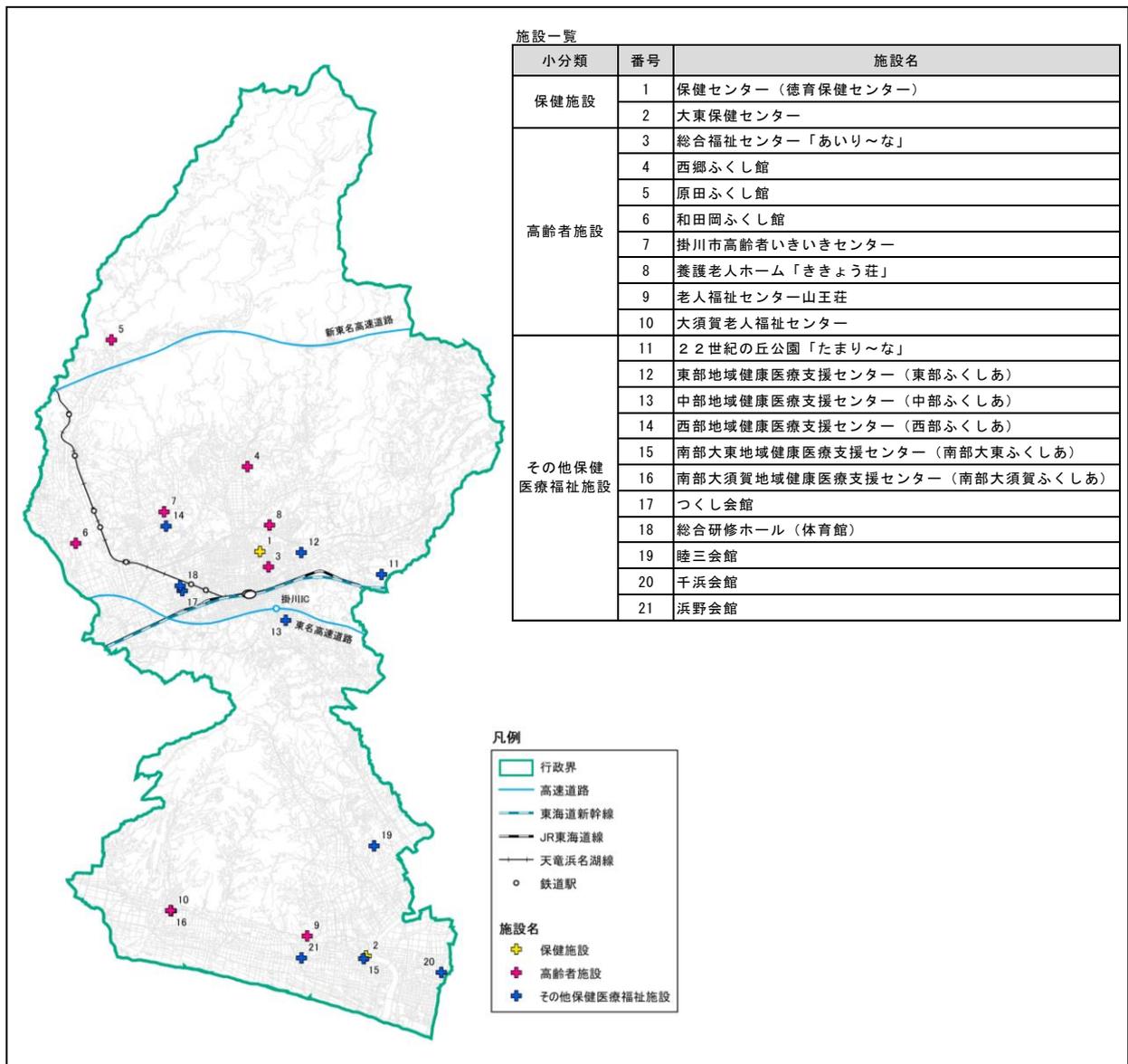
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
上内田にこにこひろば	1,646	3,337	0	4,983
倉真パンダひろば	1,344	6,532	0	7,877
つくしなかよし広場	1,488	3,488	0	4,975

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	2,000	4,000	6,000	8,000	10,000
上内田にこにこひろば						
倉真パンダひろば						
つくしなかよし広場						

II-7 保健・医療・福祉施設

- 保健・医療・福祉施設は、保健施設が2件、高齢者施設が8件、その他保健医療福祉施設が11件あります。
- 保健施設は、健康診断や市が独自で行う検診等に利用されており、大東保健センターの2階は児童館としても利用されています。
- 高齢者施設のうち、総合福祉センター「あいり～な」は、旧県立高校の校舎を再整備し、複合施設として活用しています。西郷ふくし館、原田ふくし館、和田岡ふくし館は、高齢者が気軽に寄れる施設として、廃園になった公立幼稚園舎を再整備したものです。
- その他保健医療福祉施設の地域健康医療支援センター「ふくしあ」は、医療・保健・福祉・介護の在宅支援の地域拠点として、市内5ヶ所に設置し、専門職を配置し、総合的な相談、支援を行っています。

付属資料 図 II-80 配置状況・外観写真（保健・医療・福祉施設）





保健センター
(徳育保健センター)



大東保健センター



総合福祉センター
「あいり~な」



西郷ふくし館



原田ふくし館



和田岡ふくし館



掛川市高齢者いきいきセンター



養護老人ホーム
「ききょう荘」



老人福祉センター山王荘



大須賀老人福祉センター



22世紀の丘公園
「たまり~な」



東部地域健康医療支援
センター
(東部ふくしあ)



中部地域健康医療支援
センター
(中部ふくしあ)



西部地域健康医療支援
センター
(西部ふくしあ)



南部大東地域健康医療
支援センター
(南部大東ふくしあ)



南部大須賀地域健康医療
支援センター
(南部大須賀ふくしあ)



つくし会館



総合研修ホール (体育館)



睦三会館



千浜会館



浜野会館

II-7-1 保健施設

(1) 老朽化状況の把握

- 保健施設の老朽化度は、両施設ともに50%前後となっています。

付属資料 図 II-81 老朽化状況（保健施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
保健センター(徳育保健センター)	3,011	H4	48.3		
大東保健センター	1,849	S60	59.6		

(2) 利用状況の把握

- 保健施設の利用者数は、保健センター（徳育保健センター）が最も多く、年間2～3万人程度となっています。

付属資料 図 II-82 利用状況（保健施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.00	0.025	0.05	0.075	0.10
保健センター(徳育保健センター)	3,011	22,000	25,000	31,543	26,181	0.03					
大東保健センター	1,849	4,000	4,000	4,000	4,000	0.01					

(3) コスト状況の把握

- 保健施設に係るコストは、保健センター（徳育保健センター）が高い値となっており、内訳を見ると、施設運営コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-83 コスト状況（保健施設）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
保健センター(徳育保健センター)	21,328	611,304	206,060	838,692
大東保健センター	4,101	33	0	4,134

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	200,000	400,000	600,000	800,000
保健センター(徳育保健センター)					
大東保健センター					

II-7-2 高齢者施設

(1) 老朽化状況の把握

- 高齢者施設の老朽化度は、全ての施設で 50%を超えており、全体的に老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-84 老朽化状況（高齢者施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
総合福祉センター「あいり～な」	3,418	S34	81.2		
西郷ふくし館	567	S57	64.3		
原田ふくし館	344	S59	59.4		
和田岡ふくし館	468	S51	71.7		
掛川市高齢者いきいきセンター	193	H11	73.3		
養護老人ホーム「ききょう荘」	1,294	S54	70.0		
老人福祉センター山王荘	808	S53	71.7		
大須賀老人福祉センター	713	S62	56.7		

(2) 利用状況の把握

- 高齢者施設の利用者数は、総合福祉センター「あいり～な」が最も高い値となっていますが、面積あたり1日あたり平均利用者数は、掛川市高齢者いきいきセンターが高い値となっています。

付属資料 図 II-85 利用状況（高齢者施設）

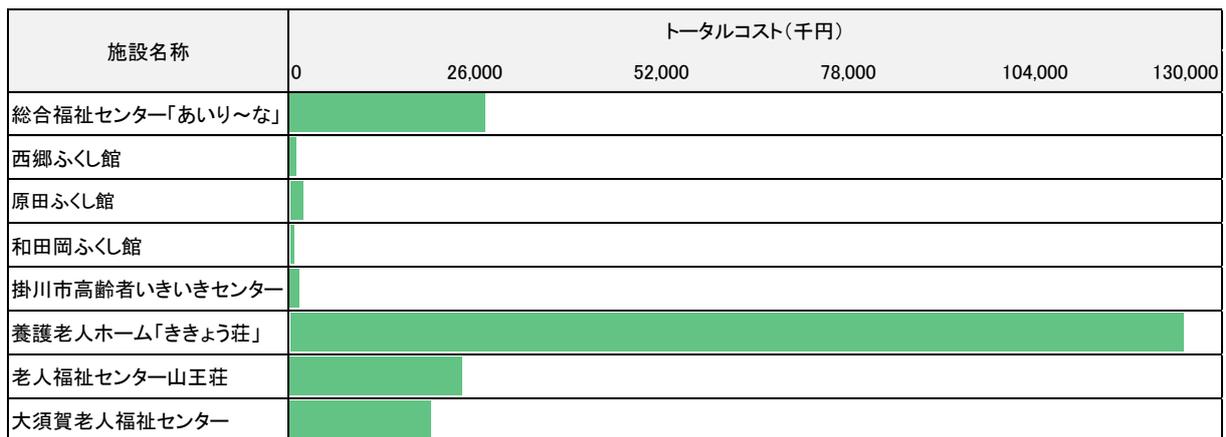
施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.00	0.05	0.10	0.15	0.20
総合福祉センター「あいり～な」	3,418	69,920	74,620	72,356	72,299	0.06	82.4					
西郷ふくし館	567	7,839	9,401	15,161	10,800	0.05	58.0					
原田ふくし館	344	2,062	1,952	1,525	1,846	0.01	21.5					
和田岡ふくし館	468	9,746	11,180	6,634	9,187	0.06	73.4					
掛川市高齢者いきいきセンター	193	6,631	5,967	4,854	5,817	0.11	39.0					
養護老人ホーム「ききょう荘」	1,294	487	483	457	476	0.001	—					
老人福祉センター山王荘	808	14,610	14,791	13,406	14,269	0.06	38.0					
大須賀老人福祉センター	713	18,291	19,617	18,751	18,886	0.09	41.0					

(3) コスト状況の把握

- ・ 総合福祉センター「あいり～な」、養護老人ホーム「ききょう荘」、老人福祉センター山王荘、大須賀老人福祉センターは指定管理者制度を導入しています。
- ・ 高齢者施設に係るコストは、養護老人ホーム「ききょう荘」が突出して高い値となっています。

付属資料 図 II-86 コスト状況（高齢者施設）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
総合福祉センター「あいり～な」	10,324	3,533	1,296	12,274	27,427
西郷ふくし館	756	91	0	-	846
原田ふくし館	1,829	62	0	-	1,891
和田岡ふくし館	505	82	0	-	586
掛川市高齢者いきいきセンター	454	98	779	-	1,330
養護老人ホーム「ききょう荘」	15,647	97,298	779	11,154	124,877
老人福祉センター山王荘	2,017	9,617	779	11,634	24,047
大須賀老人福祉センター	2,379	7,082	779	9,461	19,701



II-7-3 その他保健医療福祉施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 南部大東地域健康医療支援センター（南部大東ふくしあ）は大東支所1階、南部大須賀地域健康医療支援センター（南部大須賀ふくしあ）は大須賀支所1階に設置されています。
- ・ その他保健医療福祉施設の老朽化度は、東部地域健康医療支援センター（東部ふくしあ）、総合研修ホール（体育館）、睦三会館、千浜会館、浜野会館が高い値となっており、施設の老朽化が進行しています。
- ・ 一方、22世紀の丘公園「たまり～な」、西部地域健康医療支援センター（西部ふくしあ）、南部大須賀地域健康医療支援センター（南部大須賀ふくしあ）については老朽度が低く、比較的新しい施設になっています。

付属資料 図 II-87 老朽化状況（その他保健医療福祉施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
22世紀の丘公園「たまり～な」	3,320	H18	25.5	0	100
東部地域健康医療支援センター(東部ふくしあ)	936	S46	77.1		
中部地域健康医療支援センター(中部ふくしあ)	3,195	H5	46.7		
西部地域健康医療支援センター(西部ふくしあ)	680	H25	24.1		
南部大東地域健康医療支援センター(南部大東ふくしあ)	235	S63	55.0		
南部大須賀地域健康医療支援センター(南部大須賀ふくしあ)	60	H19	23.3		
つくし会館	533	S60	58.7		
総合研修ホール(体育館)	507	S55	68.3		
睦三会館	271	S60	60.0		
千浜会館	266	S45	85.0		
浜野会館	264	S47	81.7		

(2) 利用状況の把握

- ・ その他保健医療福祉施設の利用者数は、22世紀の丘公園「たまり～な」が最も高い値となっており、年間15～18万人程度となっています。
- ・ 貸部屋等利用率は、総合研修ホール（体育館）が最も高い値となっており、65.9%となっています。
- ・ 面積あたり1日あたり平均利用者数は、南部大須賀地域健康医療支援センター（南部大須賀ふくしあ）が突出して高い値となっています。

付属資料 図 II-88 利用状況（その他保健医療福祉施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均			0.0	0.15	0.3	0.45	0.6
22世紀の丘公園「たまり～な」	3,320	181,271	176,866	152,419	170,185	0.17	36.6					
東部地域健康医療支援センター(東部 ふくしあ)	936	1,294	1,164	1,767	1,408	0.006	12.5					
中部地域健康医療支援センター(中部 ふくしあ)	3,195	1,382	871	924	1,059	0.001	18.2					
西部地域健康医療支援センター(西部 ふくしあ)	680	962	1,086	1,084	1,044	0.01	35.9					
南部大東地域健康医療支援センター (南部大東ふくしあ)	235	10,367	10,132	9,342	9,947	0.17	—					
南部大須賀地域健康医療支援セン ター(南部大須賀ふくしあ)	60	8,614	8,200	7,375	8,063	0.55	14.8					
つくし会館	533	8,782	9,715	9,916	9,471	0.06	11.7					
総合研修ホール(体育館)	507	9,711	9,707	9,054	9,491	0.05	65.9					
睦三会館	271	5,020	4,573	4,174	4,589	0.07	—					
千浜会館	266	1,960	1,891	1,908	1,920	0.03	—					
浜野会館	264	4,539	4,073	3,944	4,185	0.06	—					

※南部大東地域健康医療支援センター（南部大東ふくしあ）、睦三会館、千浜会館、浜野会館の貸部屋等利用率については、実績値は不明となっています。

※その他、22世紀の丘公園「たまり～な」を除いた施設において、平成29年度の実績値から算出しています。

(3) コスト状況の把握

- ・ 22世紀の丘公園「たまり～な」は指定管理者制度を導入しており、トータルコストの内訳を見ると、指定管理料が大きな割合を占めています。
- ・ 南部大東地域健康医療支援センター（南部大東ふくしあ）、南部大須賀地域健康医療支援センター（南部大須賀ふくしあ）は、それぞれ複合施設であることから、主なコストは施設運営コスト及び人件費（賃金含）となっています。

付属資料 図 II-89 コスト状況（その他保健医療福祉施設）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
22世紀の丘公園「たまり～な」	37,994	51,002	1,557	74,332	164,885
東部地域健康医療支援センター(東部ふくしあ)	5,251	592	23,359	-	29,201
中部地域健康医療支援センター(中部ふくしあ)	11,305	1,546	23,359	-	36,210
西部地域健康医療支援センター(西部ふくしあ)	2,736	906	23,359	-	27,001
南部大東地域健康医療支援センター(南部大東ふくしあ)	0	439	25,311	-	25,750
南部大須賀地域健康医療支援センター(南部大須賀ふくしあ)	0	709	25,311	-	26,020
つくし会館	2,943	2,400	5,031	-	10,374
総合研修ホール(体育館)	0	0	0	-	0
睦三会館	1,262	1,861	3,678	-	6,801
千浜会館	1,024	1,475	3,491	-	5,990
浜野会館	1,931	1,451	2,660	-	6,043

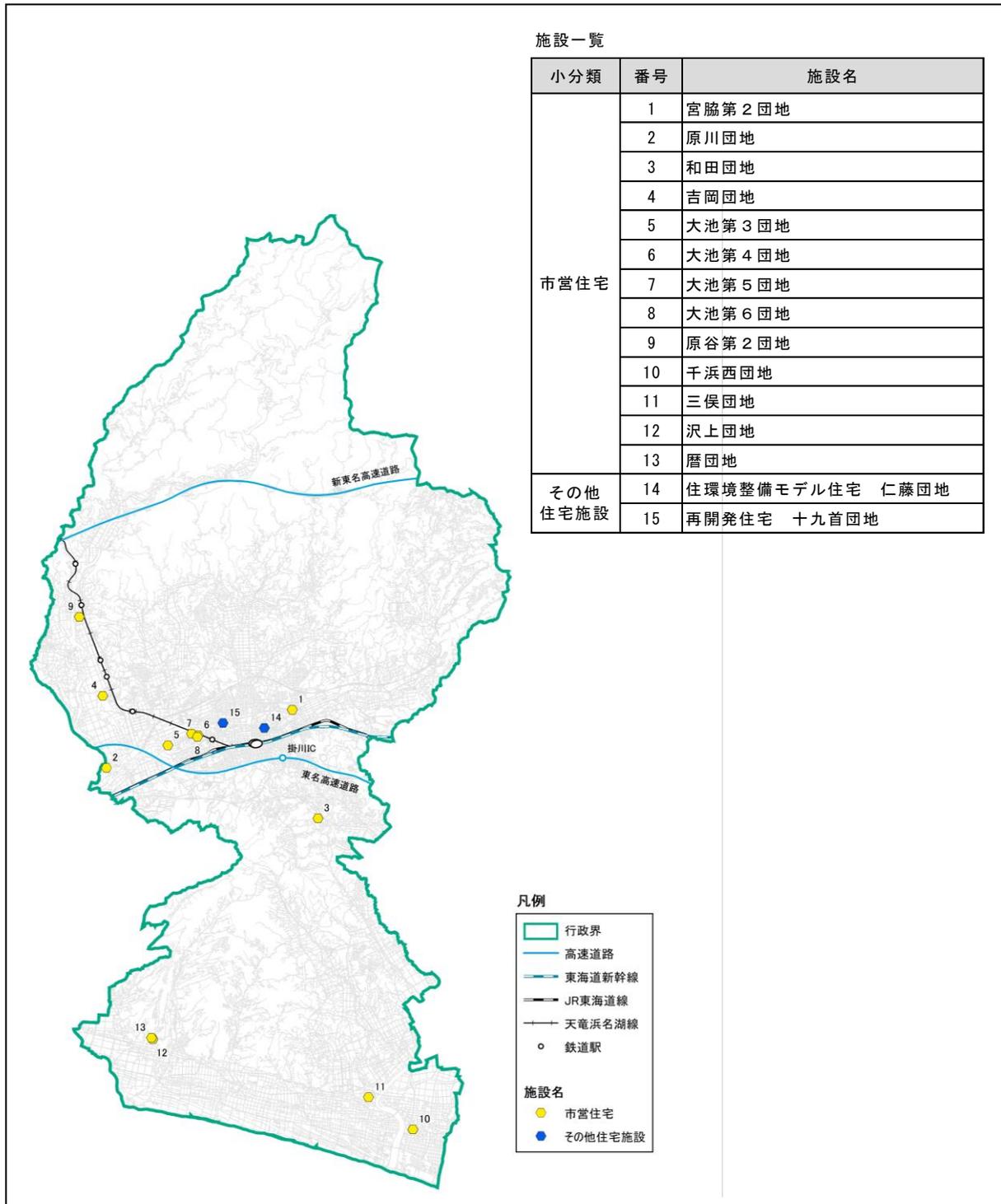
施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	36,000	72,000	108,000	144,000	180,000
22世紀の丘公園「たまり～な」						
東部地域健康医療支援センター(東部ふくしあ)						
中部地域健康医療支援センター(中部ふくしあ)						
西部地域健康医療支援センター(西部ふくしあ)						
南部大東地域健康医療支援センター(南部大東ふくしあ)						
南部大須賀地域健康医療支援センター(南部大須賀ふくしあ)						
つくし会館						
総合研修ホール(体育館)						
睦三会館						
千浜会館						
浜野会館						

※総合研修ホール（体育館）のコストは、つくし会館のコストに含めて計上しています。

II-8 住宅施設

- ・ 住宅施設には、市営住宅が13件、その他住宅施設が2件あります。
- ・ 市営住宅のうち、2団地（原谷第2、千浜西）5棟にはエレベーターを設置しています。

付属資料 図 II-90 配置状況・外観写真（住宅施設）





宮脇第2団地



原川団地



和田団地



吉岡団地



大池第3団地



大池第4団地



大池第5団地



大池第6団地



原谷第2団地



千浜西団地



三俣団地



沢上団地



暦団地



住環境整備モデル住宅
仁藤団地



再開発住宅 十九首団地

II-8-1 市営住宅

(1) 老朽化状況の把握

- 市営住宅の老朽化度は、13 団地のうち 10 団地の老朽化度が 50% を超えており、施設の老朽化が進行しています。
- 原谷第 2 団地は平成 18 年度に建設されたことから、老朽化度が低く、比較的新しい施設となっています。

付属資料 図 II-91 老朽化状況（市営住宅）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度 (%)	
				低	高
				0	100
宮脇第2団地	2,187	H1	52.7		
原川団地	2,762	H3	48.9		
和田団地	1,426	S50	75.7		
吉岡団地	5,167	S51	73.4		
大池第3団地	810	S54	70.0		
大池第4団地	1,176	S55	68.3		
大池第5団地	834	S59	61.7		
大池第6団地	1,251	S60	60.0		
原谷第2団地	5,803	H18	23.9		
千浜西団地	2,441	H16	28.3		
三俣団地	3,825	S48	80.6		
沢上団地	623	S59	61.7		
暦団地	846	H1	53.3		

(2) 利用状況の把握

- ・ 全施設で入居率は高い値で推移しています。

付属資料 図 II-92 利用状況（市営住宅）

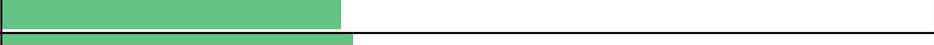
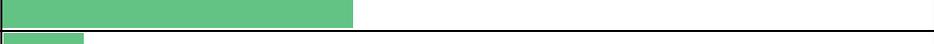
施設名称	延床面積 (㎡)	入居率(%)				入居率(%) 3年平均				
		H27	H28	H29	3年平均	0.0	25.0	50.0	75.0	100.0
宮脇第2団地	2,187	97.8	95.6	87.2	93.5					
原川団地	2,762	67.4	65.5	66.4	66.4					
和田団地	1,426	77.4	82.3	78.5	79.4					
吉岡団地	5,167	70.4	66.9	60.1	65.8					
大池第3団地	810	73.6	88.9	88.9	83.8					
大池第4団地	1,176	93.5	87.0	84.7	88.4					
大池第5団地	834	100.0	100.0	100.0	100.0					
大池第6団地	1,251	93.1	88.9	88.9	90.3					
原谷第2団地	5,803	93.4	92.5	85.6	90.5					
千浜西団地	2,441	52.3	52.8	70.2	58.4					
三俣団地	3,825	59.7	58.1	57.5	58.4					
沢上団地	623	87.5	84.2	80.0	83.9					
暦団地	846	78.5	69.4	79.9	75.9					

(3) コスト状況の把握

- ・ 市営住宅に係るコストは、原谷第2団地が最も高い値となっており、次いで吉岡団地が高い値となっています。
- ・ 全施設について、コストの内訳を見ると、施設維持コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-93 コスト状況（市営住宅）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
宮脇第2団地	3,845	278	722	4,845
原川団地	4,997	238	862	6,097
和田団地	1,611	188	578	2,377
吉岡団地	9,887	496	2,114	12,497
大池第3団地	2,528	99	289	2,916
大池第4団地	2,657	159	433	3,249
大池第5団地	1,074	119	289	1,482
大池第6団地	2,531	159	433	3,123
原谷第2団地	10,783	645	1,849	13,277
千浜西団地	4,058	228	1,167	5,454
三俣団地	3,073	476	2,092	5,641
沢上団地	967	79	243	1,290
暦団地	1,008	99	289	1,397

施設名称	トータルコスト(千円)				
	0	3,000	6,000	9,000	12,000
宮脇第2団地					
原川団地					
和田団地					
吉岡団地					
大池第3団地					
大池第4団地					
大池第5団地					
大池第6団地					
原谷第2団地					
千浜西団地					
三俣団地					
沢上団地					
磨団地					

II-8-2 その他住宅施設

(1) 老朽化状況の把握

・ その他住宅施設の老朽化度は50%を超えており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-94 老朽化状況（その他住宅施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
住環境整備モデル住宅 仁藤団地	2,233	H1	53.3		
再開発住宅 十九首団地	2,746	S55	68.3		

(2) 利用状況の把握

・ 全施設で入居率が高い値で推移しています。

付属資料 図 II-95 利用状況（その他住宅施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	入居率(%)				入居率(%) 3年平均				
		H27	H28	H29	3年平均	0.0	25.0	50.0	75.0	100.0
住環境整備モデル住宅 仁藤団地	2,233	72.4	69.8	75.8	72.7					
再開発住宅 十九首団地	2,746	73.2	67.9	67.3	69.4					

(3) コスト状況の把握

・ その他住宅施設に係るコストは、内訳を見ると、施設維持コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-96 コスト状況（その他住宅施設）

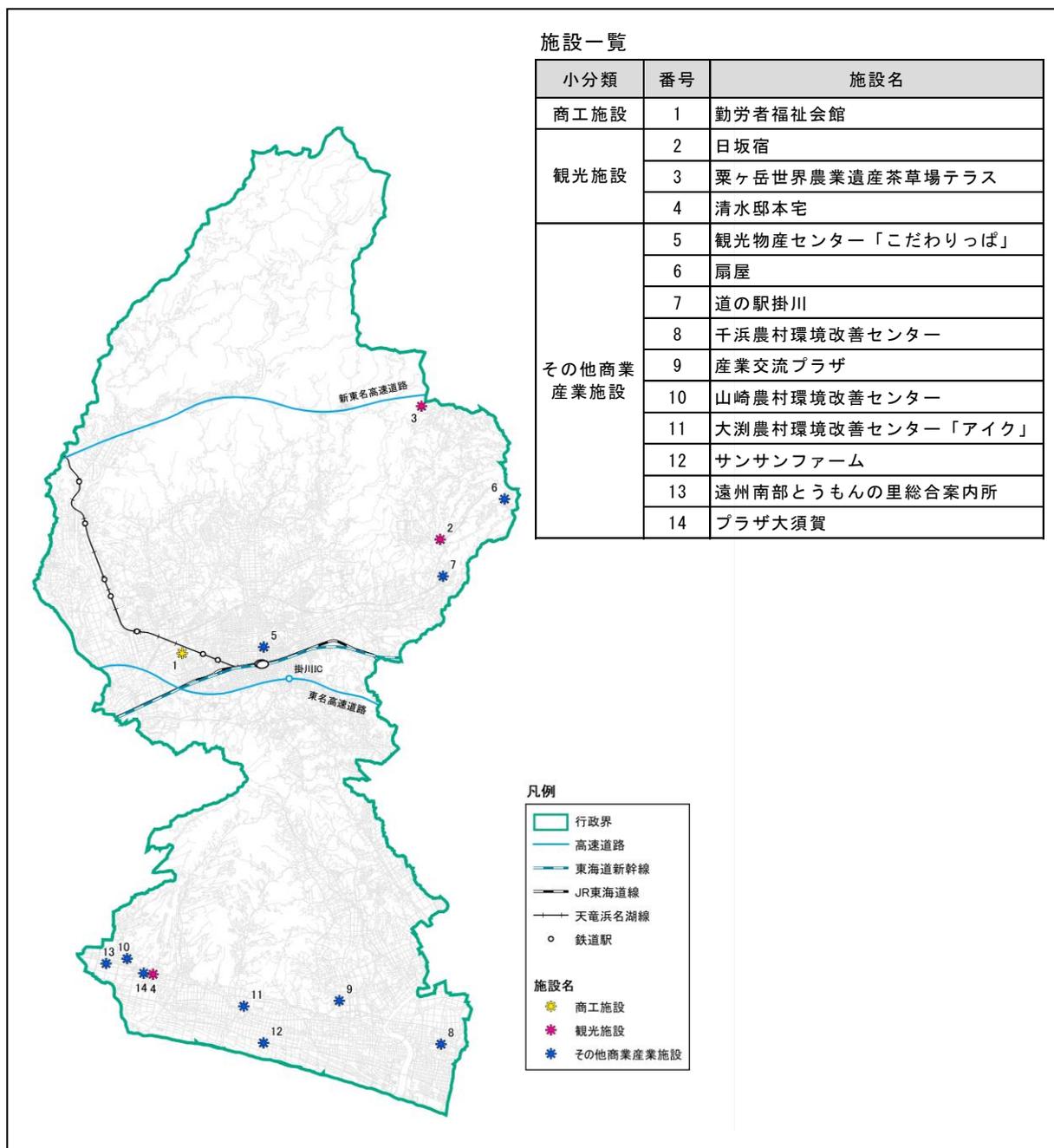
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
住環境整備モデル住宅 仁藤団地	4,425	228	771	5,424
再開発住宅 十九首団地	3,647	298	1,009	4,953

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	1,200	2,400	3,600	4,800	6,000
住環境整備モデル住宅 仁藤団地						
再開発住宅 十九首団地						

II-9 商業・産業施設

- ・ 商業・産業施設には、商工施設が1件、観光施設が3件、その他商業産業施設が10件あります。
- ・ 商工施設には、勤労者福社会館があります。
- ・ 観光施設の、日坂宿、清水邸本宅は歴史的建造物であり、日坂宿は9つの施設から構成されています。粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラスには、観光シーズンには市外から多くの観光客が訪れます。
- ・ その他商業産業施設には、テナント運営をしている施設や調理室、集会場などの貸館を有している施設があり、施設の貸し出しを行っています。

付属資料 図 II-97 配置状況・外観写真（商業・産業施設）





勤労者福祉会館



日坂宿



栗ヶ岳世界農業遺産茶草場
テラス



清水邸本宅



観光物産センター
「こだわりっぱ」



扇屋



道の駅掛川



千浜農村環境改善センター



産業交流プラザ



山崎農村環境改善センター



大淵農村環境改善センター
「アイク」



サンサンファーム



遠州南部とうもんの里
総合案内所



プラザ大須賀

II-9-1 商工施設

(1) 老朽化状況の把握

- 勤労者福祉会館の老朽化度は56.7%となっており、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-98 老朽化状況（商工施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
勤労者福祉会館	502	S62	56.7		

(2) 利用状況の把握

- 勤労者福祉会館の利用者数は年間2千人程度となっています。

付属資料 図 II-99 利用状況（商工施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.00	0.025	0.05	0.075	0.10
勤労者福祉会館	502	1,665	1,730	1,941	1,779	0.01					

(3) コスト状況の把握

- 勤労者福祉会館に係るコストは、約7割程度が人件費（賃金含）となっています。

付属資料 図 II-100 コスト状況（商工施設）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
勤労者福祉会館	405	9	779	1,193

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	300	600	900	1,200	1,500
勤労者福祉会館						

II-9-2 観光施設

(1) 老朽化状況の把握

<ul style="list-style-type: none"> 粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラスは、令和元年5月にリニューアルオープンされています。 日坂宿、清水邸本宅は歴史的な建物を有する施設となっています。

付属資料 図 II-101 老朽化状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
日坂宿	757	不明	—	—	
粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス	263	R1	6.7		
清水邸本宅	1,113	不明	—	—	

(2) 利用状況の把握

<ul style="list-style-type: none"> 粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラスの年間利用者は毎年増加しています。また、面積あたり1日あたり平均利用者数は0.32人/㎡・日となっています。

付属資料 図 II-102 利用状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.25	0.5	0.75	1.0
日坂宿	757	3,604	7,265	4,975	5,281	0.06					
粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス	263	19,398	24,730	29,023	24,384	0.32					
清水邸本宅	1,113	-	-	-	-	-	-				

※清水邸本宅の利用者数の実績値は不明となっています。

(3) コスト状況の把握

<ul style="list-style-type: none"> 観光施設に係るコストは、3施設ともに同程度となっています。

付属資料 図 II-103 コスト状況（観光施設）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
日坂宿	477	1,013	779	2,269
粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス	222	1,200	779	2,201
清水邸本宅	1,654	0	779	2,433

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	600	1,200	1,800	2,400	3,000
日坂宿						
粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス						
清水邸本宅						

II-9-3 その他商業産業施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・ その他商業産業施設の老朽化度は、千浜農村環境改善センター、山崎農村環境改善センター、プラザ大須賀で50%を超えており、施設の老朽化が進行しています。
- ・ 扇屋は歴史的な建物を有する施設となっています。

付属資料 図 II-104 老朽化状況（その他商業産業施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
観光物産センター「こだわりっば」	614	H5	46.7	0	100
扇屋	206	不明	—	—	—
道の駅掛川	1,220	H17	26.7		
千浜農村環境改善センター	1,695	S54	70.0		
産業交流プラザ	610	H9	40.0		
山崎農村環境改善センター	822	S59	61.7		
大淵農村環境改善センター「アイク」	1,146	H5	46.7		
サンサンファーム	969	H5	38.8		
遠州南部とうもんの里総合案内所	455	H19	23.7		
プラザ大須賀	959	S63	55.0		

(2) 利用状況の把握

- ・ その他商業産業施設の利用者数は、道の駅掛川が最も高い値となっており、年間 160～170 万人程度となっています。

付属資料 図 II-105 利用状況（その他商業産業施設）

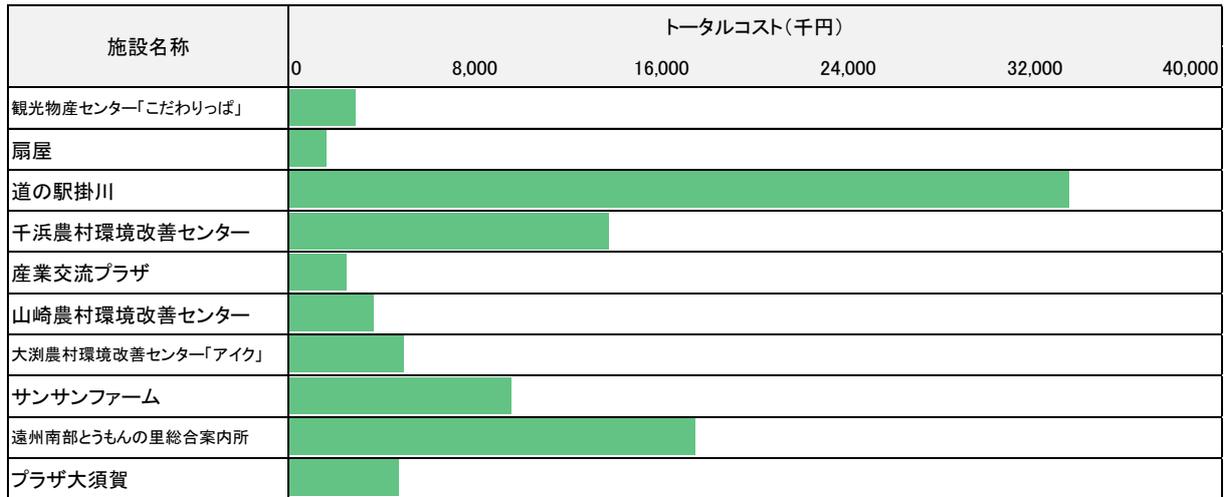
施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平均 利用者数(人 /㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
観光物産センター「こだわりっば」	614	-	-	-	-	-					
扇屋	206	4,719	4,756	4,676	4,717	0.19					
道の駅掛川	1,220	1,600,000	1,680,000	1,680,000	1,653,333	3.83					
千浜農村環境改善センター	1,695	11,454	12,550	18,047	14,017	0.03					
産業交流プラザ	610	-	-	-	-	-					
山崎農村環境改善センター	822	8,329	8,086	7,541	7,985	0.04					
大淵農村環境改善センター「アイク」	1,146	14,939	15,096	13,917	14,651	0.04					
サンサンファーム	969	244,513	240,291	238,918	241,241	0.80					
遠州南部とうもんの里総合案内所	455	104,344	114,886	113,307	110,846	0.80					
プラザ大須賀	959	7,324	6,436	6,673	6,811	0.03					

(3) コスト状況の把握

- ・ その他商業産業施設に係るコストは、道の駅掛川が最も高い値となっており、内訳を見ると、施設維持管理コストが大きな割合を占めています。
- ・ 遠州南部とうもんの里総合案内所は指定管理者制度を導入しています。

付属資料 図 II-106 コスト状況（その他商業産業施設）

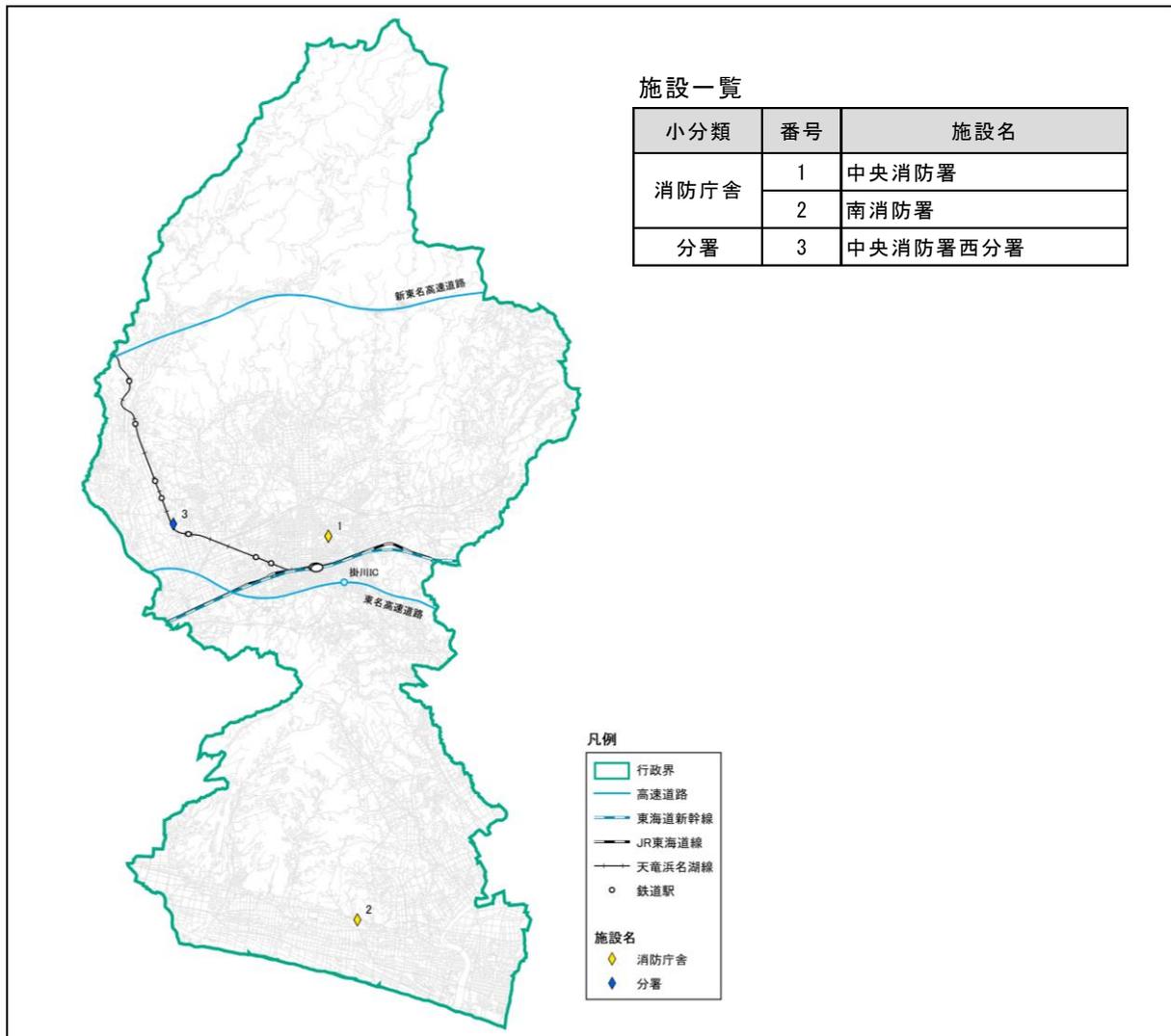
施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
観光物産センター「こだわりっば」	2,072	0	779	-	2,851
扇屋	506	270	779	-	1,555
道の駅掛川	25,738	0	7,786	-	33,524
千浜農村環境改善センター	5,307	552	7,847	-	13,707
産業交流プラザ	901	0	1,557	-	2,458
山崎農村環境改善センター	1,708	89	1,855	-	3,652
大淵農村環境改善センター「アイク」	2,959	84	1,855	-	4,898
サンサンファーム	1,747	0	7,786	-	9,533
遠州南部とうもんの里総合案内所	9,052	0	0	8,390	17,442
プラザ大須賀	1,572	0	3,115	-	4,687



II-10 消防施設

- 消防施設には、消防庁舎 2 署と 1 分署があります。その他にも、分団消防センターが全市域に 30 箇所配置されています。
- 消防署は、中央消防署が平成 26、27 年度に建替を実施しており、平成 27 年 8 月 31 日に庁舎棟の仮使用が開始されています。南消防署は、旧小笠地区消防組合の南分署からスタートし、再編され、南消防署として整備されました。
- 分署は、中央消防署西分署として単独で整備されています。

付属資料 図 II-107 配置状況・外観写真（消防施設）



中央消防署



南消防署



中央消防署西分署

II-10-1 消防庁舎

(1) 老朽化状況の把握

- 消防庁舎の老朽化度は、両施設ともに低い値となっており、比較的新しい施設となっています。

付属資料 図 II-108 老朽化状況（消防庁舎）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
中央消防署	3,636	H28	8.4	0	100
南消防署	762	H16	28.3		

(2) 利用状況の把握

- 中央消防署、南消防署については、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 消防庁舎に係るコストは、両施設ともに人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-109 コスト状況（消防庁舎）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
中央消防署	9,145	3,929	459,468	472,541
南消防署	2,355	929	202,412	205,696

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	100,000	200,000	300,000	400,000	500,000
中央消防署						
南消防署						

II-10-2 分署

(1) 老朽化状況の把握

- 中央消防署西分署の老朽化度は50.7%となっており、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-110 老朽化状況（分署）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
中央消防署西分署	487	H2	50.7		

(2) 利用状況の把握

- 中央消防署西分署については、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 中央消防署西分署に係るコストは、消防庁舎と同様に人件費（賃金含）が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-111 コスト状況（分署）

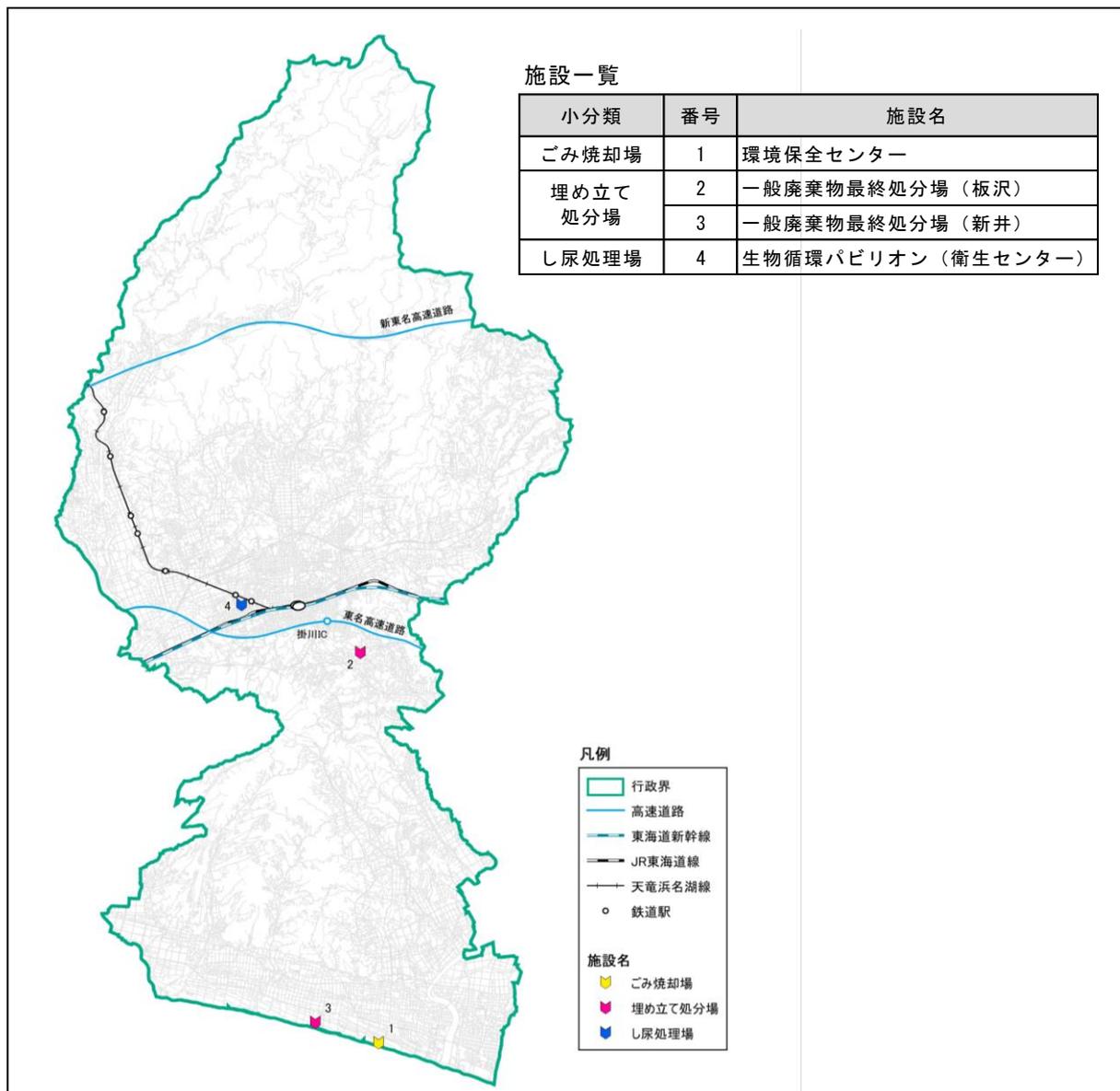
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
中央消防署西分署	3,539	655	119,389	123,583

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	30,000	60,000	90,000	120,000	150,000
中央消防署西分署						

II-11 環境・衛生施設

- 環境・衛生施設には、ごみ焼却場が1件、埋め立て処分場が2件、し尿処理場が1件あります。
- ごみ焼却場の環境保全センターは、休止しており、今後取り壊す予定です。現在は倉庫として利用しています。
- 埋め立て処分場は、環境資源ギャラリーで残った廃棄物や灰を最終的に処分する機能をもっています。また敷地内に水処理施設を整備しています。
- し尿処理場には、生物循環パビリオン（衛生センター）があり、し尿処理という本来の役割のほかに、生物循環（エコサイクル）についての学習展示施設としての機能も併せもっています。
- ごみ処理施設の環境資源ギャラリーは、一部事務組合の施設のため本附属資料の対象外としています。

付属資料 図 II-112 配置状況・外観写真（環境・衛生施設）





環境保全センター



一般廃棄物最終処分場(板沢)



一般廃棄物最終処分場(新井)



生物循環パビリオン
(衛生センター)

II-11-1 ごみ焼却場

(1) 老朽化状況の把握

- 環境保全センターの老朽化度は45.0%となっています。

付属資料 図 II-113 老朽化状況（ごみ焼却場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
環境保全センター	3,791	H6	45.0	0	100

(2) 利用状況の把握

- 環境保全センターについては、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 環境保全センターに係るコストは、内訳を見ると、施設維持管理コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-114 コスト状況（ごみ焼却場）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
環境保全センター	332	37	0	369

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	100	200	300	400	500
環境保全センター	[Bar chart showing a value of 369 on a scale from 0 to 500]					

II-11-2 埋め立て処分場

(1) 老朽化状況の把握

- 埋め立て処分場の老朽化度は、板沢の処分場の方が値が高くなっており、老朽化度は56.7%となっています。

付属資料 図 II-115 老朽化状況（埋め立て処分場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低	高
一般廃棄物最終処分場(板沢)	226	S62	56.7	0	100
一般廃棄物最終処分場(新井)	366	H18	25.0	0	100

(2) 利用状況の把握

- 埋め立て処分場については、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 埋め立て処分場に係るコストは、板沢の処分場の方が高い値になっており、内訳を見ると、施設維持管理コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-116 コスト状況（埋め立て処分場）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
一般廃棄物最終処分場(板沢)	15,689	8,373	9,419	33,481
一般廃棄物最終処分場(新井)	8,171	0	9,419	17,590

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
一般廃棄物最終処分場(板沢)						
一般廃棄物最終処分場(新井)						

II-11-3 し尿処理場

(1) 老朽化状況の把握

- 生物循環パビリオン（衛生センター）の老朽化度は、46.7%となっています。

付属資料 図 II-117 老朽化状況（し尿処理場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
生物循環パビリオン(衛生センター)	2,980	H5	46.7		

(2) 利用状況の把握

- 生物循環パビリオン（衛生センター）については、利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- 生物循環パビリオン（衛生センター）に係るコストは、内訳を見ると、施設維持管理コストが大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-118 コスト状況（し尿処理場）

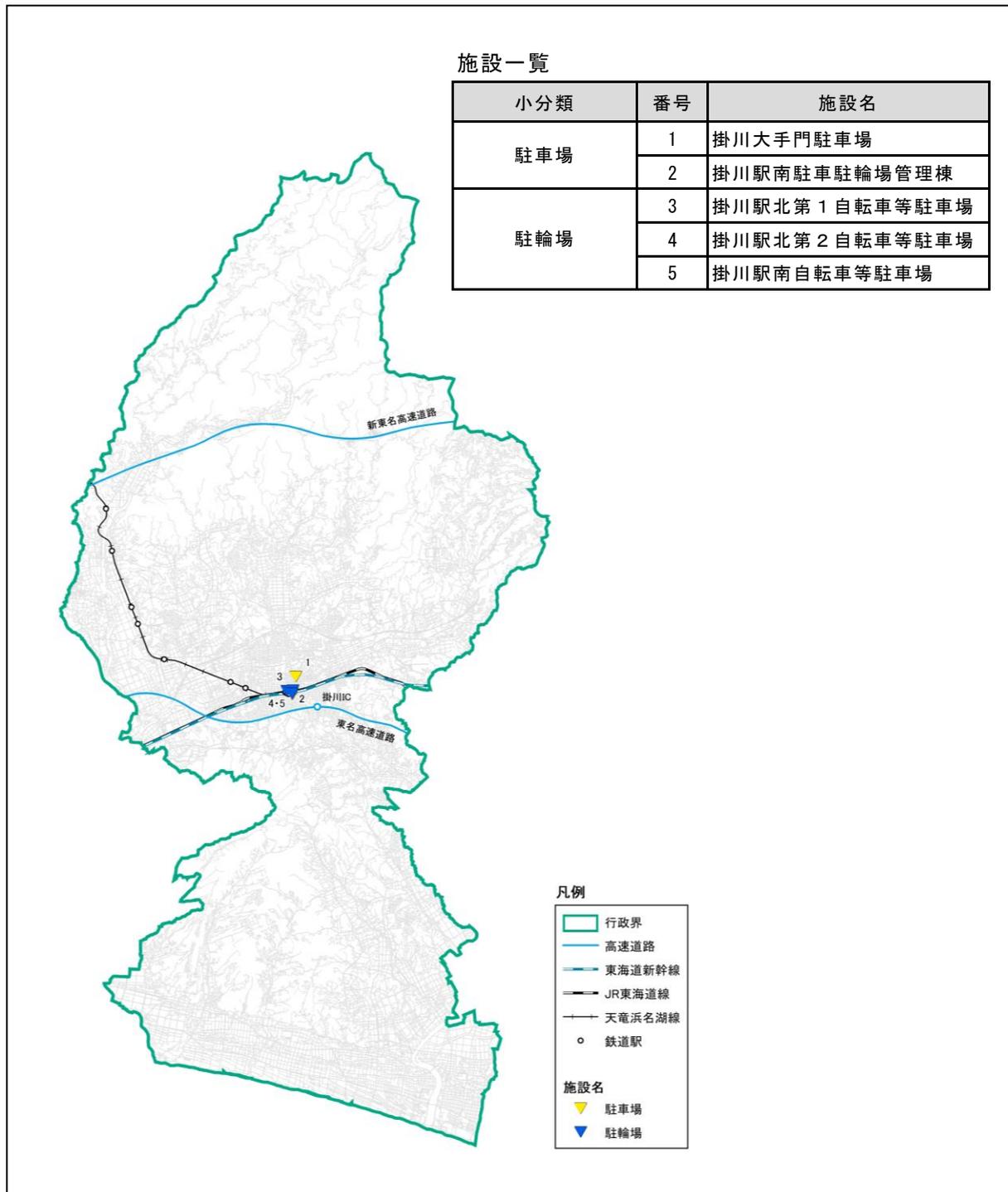
施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
生物循環パビリオン(衛生センター)	168,238	15,633	15,379	199,250

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	50,000	100,000	150,000	200,000	250,000
生物循環パビリオン(衛生センター)						

II-12 その他施設

- その他施設には、駐車場が2件、駐輪場が3件あります。
- 駐車場には、施設を持たない平面駐車場と立体駐車場があります。
- 駐輪場には、平面駐輪場が2件、立体駐輪場が1件あり、定期利用や一時利用ができます。

付属資料 図 II-119 配置状況・外観写真（その他施設）





掛川大手門駐車場



掛川駅南駐車駐輪場管理棟



掛川駅北
第1自転車等駐車場



掛川駅北
第2自転車等駐車場



掛川駅南自転車等駐車場

II-12-1 駐車場

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 駐車場の老朽化度は、掛川駅南駐車場管理棟が 100.0% となっており、施設の老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-120 老朽化状況（駐車場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度 (%)	
				低 0	高 100
掛川大手門駐車場	5,467	H6	45.0		
掛川駅南駐車駐輪場管理棟	16	S63	100.0		

(2) 利用状況の把握

- ・ 駐車場の利用者数は、掛川大手門駐車場の方が多くなっており、年間 9 万人程度となっています。

付属資料 図 II-121 利用状況（駐車場）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.05	0.1	0.15	0.2
掛川大手門駐車場	5,467	96,608	87,108	91,556	91,757	0.05					
掛川駅南駐車駐輪場管理棟	16	11,680	10,980	12,775	11,812	-	-				

(3) コスト状況の把握

- ・ 両施設ともに指定管理者制度を導入していますが、市から指定管理料は支出していません。
- ・ 掛川大手門駐車場は、立体駐車場であることから、施設維持管理コストが大きくなっています。

付属資料 図 II-122 コスト状況（駐車場）

施設名称	トータルコスト(千円)			
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	合計
掛川大手門駐車場	16,996	4,995	2,336	24,327
掛川駅南駐車駐輪場管理棟	81	0	779	859

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	6,000	12,000	18,000	24,000	30,000
掛川大手門駐車場						
掛川駅南駐車駐輪場管理棟						

II-12-2 駐輪場

(1) 老朽化状況の把握

- 駐輪場の老朽化度は、全施設で50%を超えており、老朽化が進行しています。

付属資料 図 II-123 老朽化状況（駐輪場）

施設名称	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	老朽化度 (%)	老朽化度(%)	
				低 0	高 100
掛川駅北第1自転車等駐車場	715	S63	55.0		
掛川駅北第2自転車等駐車場	228	S63	55.0		
掛川駅南自転車等駐車場	354	S63	55.0		

(2) 利用状況の把握

- 掛川駅北第1自転車等駐車場が最も広く、利用者数も高い値となっています。

付属資料 図 II-124 利用状況（駐輪場）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				面積あたり1 日あたり平 均利用者数 (人/㎡)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡)				
		H27	H28	H29	3年平均		0.0	0.5	1.0	1.5	2.0
掛川駅北第1自転車等駐車場	715	313,878	295,453	293,938	301,090	1.15					
掛川駅北第2自転車等駐車場	228	77,298	79,808	76,394	77,833	0.94					
掛川駅南自転車等駐車場	354	137,933	139,733	137,696	138,454	1.07					

(3) コスト状況の把握

- 駐輪場は、全施設で指定管理者制度を導入しています。
- 駐輪場に係るコストは、内訳を見ると、全施設で施設運営コスト及び指定管理料が大きな割合を占めています。

付属資料 図 II-125 コスト状況（駐輪場）

施設名称	トータルコスト(千円)				
	施設維持管理コスト	施設運営コスト	人件費(賃金含)	指定管理料	合計
掛川駅北第1自転車等駐車場	1,507	12,972	2,336	12,817	29,632
掛川駅北第2自転車等駐車場	299	5,569	2,336	5,569	13,772
掛川駅南自転車等駐車場	678	6,310	2,336	6,237	15,561

施設名称	トータルコスト(千円)					
	0	6,000	12,000	18,000	24,000	30,000
掛川駅北第1自転車等駐車場						
掛川駅北第2自転車等駐車場						
掛川駅南自転車等駐車場						

掛川市公共施設等総合管理計画

編集・発行 掛川市企画政策部企画政策課

〒436-8650

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

TEL 0537-21-1111（代表）